

令和5年度 7月定例

教育委員会会議 議事録

令和5年(2023年)7月29日

吹田市教育委員会

令和5年度7月定例教育委員会会議

| | |
|-------|--|
| 開催日時 | 令和5年(2023年)7月29日 11時00分~17時18分 |
| 開催場所 | 北千里地区公民館 |
| 出席委員 | 教 育 長 西川 俊孝 教育長職務代理者 安達 友基子 委 員 福田 知弘 委 員 和田 光代 委 員 飴野 仁子 委 員 谷池 雅子 |
| 出席説明員 | 学 校 教 育 部 長 山下 栄治 地 域 教 育 部 長 道場 久明 教 育 監 植田 聡 学校教育部次長教育総務室長兼務 落 俊哉 学校教育部次長学校教育室長兼務 角田 睦 地 域 教 育 部 次 長 堀 哲郎 教育未来創生室長 薬師川 晃 教育未来創生室総括参事 平野 和男 保 健 給 食 室 長 小西 正晃 教 育 セ ン タ ー 所 長 木谷 美香 教育センター総括参事 大江 慶博 青 少 年 室 長 大川 雅博 教 育 総 務 室 参 事 紙谷 昌明 中 央 図 書 館 参 事 桑名 裕子 放課後子ども育成室参事 中村 暢之 健都ライブラリー館長 長尾 理恵 青少年クリエイティブセンター館長 池原 寛治 教育未来創生室主幹・指導主事 加藤 弘靖 保健給食室主幹・指導主事 盛園 直人 学校教育室参事・指導主事 西 慎一郎 学校教育室主幹・指導主事 大西 耕平 学校教育室主幹・指導主事 麦田 達郎 学校教育室主幹・指導主事 園田 章 学校教育室主幹・指導主事 速水 亮仁 学校教育室主幹・指導主事 山本 雄一郎 学校教育室主幹・指導主事 島野 良太 教育センター主幹・指導主事 三宅 和樹 教育センター主幹・指導主事 大津 博典 教育センター主幹・指導主事 吉川 優莉 |

教育センター主幹・指導主事 山埜 善昭

議事内容

○西川俊孝教育長

ただいまから7月定例教育委員会会議を開催いたします。

署名委員に福田委員を指名いたします。

○西川俊孝教育長

本日の、日程第2、議案第42号「吹田市立健都ライブラリー指定管理者候補者選定委員会委員の委嘱について」は、公表することにより公正な選定に支障を来す恐れのある案件のため、吹田市教育委員会会議規則第5条第1項の規定により、秘密会とし、議事運営を効率的に行うため、日程第6の案件に先んじて行う議事順序の変更を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第42号を秘密会とすること、並びに、日程第2を日程第6の案件の次に行う議事順序の変更を決定いたします。

○西川俊孝教育長

では、日程第1、報告第11号「令和5年7月吹田市議会定例会提案の令和5年度補正予算案について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○紙谷昌明教育総務室参事

日程第1、報告第11号「令和5年7月吹田市議会定例会提案の令和5年度補正予算案について」御説明申し上げます。

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第29条に基づき、教育事務に関し、市長から意見を求められたものでございますが、令和5年7月定例会に議案として提出する必要がございましたので、令和5年7月4日付で臨時に代理したものでございます。

補正予算の内容につきましては、2点ございまして、ICTを用いた健康観察による児童、生徒支援体制の構築に係る費用及び小学校給食事業における給食調理室等改修工事に係る費用となっております。

このたびの補正予算に係る歳出債務負担行為補正の金額等につきましては、議案書5ページから12ページにお示しております。

以上、簡単ではございますが、御報告申し上げます。

○西川俊孝教育長

それでは、この件について、質問、御意見ありましたらお願いをいたします。

○西川俊孝教育長

では、この件を承認することに異議ないでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、報告第11号「令和5年7月吹田市議会定例会提案の令和5年度補正予算案について」を承認します。

○西川俊孝教育長

次に、日程第3、報告第12号「吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会委員の委嘱について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○池原寛治青少年クリエイティブセンター館長

まず、御説明の前にお詫び申し上げます。

報告第12号の次に御説明申し上げます、御上程いただきました、議案第43号「吹田市立青少年クリエイティブセンター運営審議会委員の委嘱について」における、運営審議会委員被委嘱者名簿に一部誤りがございましたので、訂正及び差し替えをお願いするものでございます。

訂正箇所は、資料21ページの「吹田市立青

少年クリエイティブセンター運営審議会委員被
委嘱者名簿」の氏名で、塩路裕子様「じ」が地
面の「じ」という漢字になっておりましたが、正しく
は道路の「ろ」という漢字になります。

謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正及び
差し替えをよろしくお願ひいたします。

それでは、説明に移ります。

日程第 3、報告第12号「吹田市立青少年クリ
エイティブセンター運営審議会委員の解嘱につ
いて」御説明申し上げます。

議案書17ページを御覧ください。

吹田市立青少年クリエイティブセンター運営
審議会委員の解嘱につきましては、吹田市教育
委員会の権限に属する事務の教育長に対する
委任等に関する規則第4条第2項の規定により、
令和5年7月13日付で、臨時に代理いたしました
ので、御報告するものでございます

被解嘱者は、主森真千子様で、社会教育関係
者として委嘱しておりましたが、辞任届が提出さ
れたものでございます。

なお、後任の委員につきましては、吹田市PTA
協議会より御推薦を頂き、本日の議案第43号で
提案させていただきます。

以上、簡単な説明ではございますが、報告のと
おり御承認いただきますようよろしくお願ひ申し
上げます。

○西川俊孝教育長

それでは、この件について質問・御意見ありま
したらお願ひいたします。ありませんか。

では、この件を承認することに異議ないでしょ
うか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、報告第12号「吹田市立青少
年クリエイティブセンター運営審議会委員の解
嘱について」を承認します。

○西川俊孝教育長

次に日程第4、議案第43号「吹田市立青少
年クリエイティブセンター運営審議会委員の委
嘱について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○池原寛治青少年クリエイティブセンター館長

日程第4、議案第43号「吹田市立青少年クリ
エイティブセンター運営審議会委員の委嘱につ
いて」御説明申し上げます。

議案書21ページの吹田市立青少年クリエ
ティブセンター運営審議会委員被委嘱者名簿を
御覧ください。

塩路裕子様は、吹田市 PTA 協議会から御推
薦を頂きました。選出区分は、社会教育関係者
でございます

なお、委嘱期間につきましては、令和5年8月1
日から、前任者の残任期間であります令和7年6
月30日まででございます。

今回の委嘱に伴いまして、委員構成男性9名、
女性6名で合計15名となります。

以上、簡単な説明ではございますが、御審議
いただき、御承認いただきますようよろしくお願ひ
申し上げます。

○西川俊孝教育長

では、この件について質問・御意見ありまし
たらお願ひいたします。

では、この件を承認することに異議ないでしょ
うか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第43号「吹田市立青少
年クリエイティブセンター運営審議会委員の委
嘱について」を承認します。

○西川俊孝教育長

次に、日程第5、「教育長報告」を議題としま
す。

事務局の説明を求めます。

○中村暢之放課後子ども育成室参事

教育長報告といたしまして、令和5年度補正予算案について、放課後子ども育成室所管分を御報告申し上げます。

議案書の27ページをお願いいたします。

歳出で、留守家庭児童育成費の補正額 1,694万円は、国の放課後児童支援員等処遇改善事業を活用し、民間委託をしている留守家庭児童育成室において、従事者の賃金改善を行った委託事業者に対し、賃金改善相当分を支給するための費用でございます。

戻りますが、25ページをお願いいたします。

歳入で、国庫支出金及び府支出金の補正額、合計1,129万2,000円は、放課後児童支援員等処遇改善事業に係る子ども・子育て支援交付金でございます。

続きまして29ページをお願いいたします。

債務負担行為補正で、一番上の放課後キッズスクエア運営業務は、現在、留守家庭児童育成室の待機児童を対象に、居場所を提供しております放課後キッズスクエアにつきまして、対象児童や対象校の拡充等を行うものでございます。

その他の事項につきましては、放課後児童支援員等処遇改善事業の実施に伴う限度額の追加及び変更でございます。

御報告は以上でございます。

○西川俊孝教育長

では、この件について質問・御意見ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

では、この件を承認することに異議ないでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、「教育長報告」を終わります。

○西川俊孝教育長

次の議案第42号につきましては、既に秘密会

と決していますので、恐れ入りますが、傍聴の方は、退室をお願いします。

－ 傍聴者退席 －

－ 秘密会 －

○西川俊孝教育長

ここで秘密会を解きます。

－ 傍聴者入場 －

○西川俊孝教育長

それでは、まず再開に先立ちまして、教育委員会事務局より連絡があります。

○西慎一郎学校教育室参事

教科書採択に当たりまして、会場での留意事項並びに注意事項を御説明いたします。

教育委員の皆様には、各種目の教科書の見本本をお手元に御用意しておりますが、スムーズな議事進行のために、前方のスクリーンにおいても、説明をする教科書見本本の各ページを随時投影いたしますので、同時に御確認いただけます。

また、傍聴される皆様も、前方スクリーンで教科書見本を御確認いただけますが、著作権法及び吹田市教育委員会会議規則第17条の規則に基づき、会場内での撮影及び録音は控えていただきますようお願いいたします。

なお、疑義が生じた際には、保存されているデータの確認、データの消去、退出をお願いすることとなります。よろしくようお願いいたします。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

令和6年度使用教科用図書の採択をしますので、まずは、事務局より、教科用図書の選定及び採択に関して、全般的な説明をしてください。

○西慎一郎学校教育室参事

令和6年度使用教科用図書選定及び採択の

全体の流れにつきまして、御説明申し上げます。

選定につきましては、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対し、吹田市教育委員会より令和5年5月10日に諮問を行いました。選定委員会は、小学校の校長会・教頭会・小学校教育研究会、吹田市PTA協議会のそれぞれの御代表から構成される、教科書採択に係る附属機関でございます。

教育委員会からの諮問内容は、令和6年度使用教科用図書(小学校用)について、種目ごとの調査結果を答申すること、令和6年度使用の「学校教育法」附則第9条に規定されている教科用図書について、検討の上、意見を答申することでございます。

この諮問を受けまして、選定委員会は、それぞれの分野に調査員を置いて、調査研究を行い、(1)公正な選定に努めること、(2)人権尊重の趣旨を基本的に踏まえること、に留意しながら、慎重に審議を重ね、7月3日に教育委員会へ、答申が提出されたところです。

答申につきましては、令和6年度使用教科用図書の選定について、答申を御覧ください。

学習指導要領の中では、育成を目指す資質・能力としまして、「何ができるようになるか」という観点が明確に示され、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力 人間性等」の3つの柱として整理されています。

この3つの柱の要素を互いに関連させながら、子供たちが、どのように学ぶのか、また、学んだことをどのように活用していくのか、といった「学びに向かう力」を育成していくことに重点が置かれています。

題材や単元など、内容や時間のまとまりを見通しながら、すべての教科で、3つの柱に基づく子供たちの学びを後押しし、社会に出てからも、学校での学びを生かせるよう、「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指し、各教科書発行者において、改訂が行われております。

今回の採択におきましては、小学校の学習指導要領の改訂は行われておりませんが、1人1台のタブレット端末が導入されており、各教科書発

行会社は QR コードを記載するなど、デジタルコンテンツが以前よりも充実しております。

この後、種目ごとに、担当から、選定委員会からの答申について説明、質疑応答を経て、審議、意見表明の後、採択となります。

以上、全体の流れにつきましては、以上になります。

○西川俊孝教育長

それでは、事務局から教科書採択全般についての説明がありました。

この件について、何か質問がありましたら、お願いいたします。

○福田知弘委員

御説明ありがとうございました。

教科用図書選定委員会、選定委員会から、教育委員会へ答申する際には、どのような観点に留意されていますでしょうか。教えてください。

○西慎一郎学校教育室参事

答申時には、「目標・内容の取り扱いについて」「人権の取り扱いについて」「発達段階の考慮について」「組織・配列について」「学び方の工夫について」「補足的な学習・発展的な学習について」各局、の6つの観点に留意したとの報告がありました。

以上でございます。

○和田光代委員

学校現場の先生方の意見はどのように反映されているのですか。

○西慎一郎学校教育室参事

全種目におきまして、校長・教頭・首席・指導教諭を含む、専門的な視点を持つ3名の教員を調査員として委嘱し、調査研究をしてまいりました。

また、教科用図書展示会を小学校6校で行い、調査員以外の教員につきましても、教科用図書を閲覧する機会を設けた上で、各種目につきまして各校1名ずつの参加者による、意見交流会と

いうものを行いました。その際の意見は、調査活動の参考とさせていただきます。

以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

市民の皆さまも、教科書採択に関しては、関心がおありかと思えます。先程小学校6校でということをお伝えいただきましたが、他に市民の方々が、教科書を見る機会というのはどのように保障されたのかお伝えいただけますか。

○西慎一郎学校教育室参事

市民の皆様につきましては、5月31日から7月3日まで、教科書センターである男女共同参画センター及び山田駅前図書館、さんくす図書館で展示を行いました。

吹田市内の小学校6校においても、閲覧できるようにし、これらの情報につきましては、吹田市のホームページ、市報で周知を図ってまいりました。

なお、信州教育出版における理科及び生活の見本本につきましては、吹田市への提供がなかったため、閲覧は行っておりません。また、選定委員からの答申についても、記載しておりません。

以上でございます。

○谷池雅子委員

市民や保護者の意見は、例年集約されていると思いますが、どのような内容で、何件ぐらいございましたでしょうか。

また、その意見は、選定委員会で反映されたでしょうか。

○西慎一郎学校教育室参事

令和5年度意見箱資料を御覧ください。

先ほどの9箇所、自由記述形式で、意見箱による集約を行い、合計110件の御意見を頂きました。

内容につきましては、社会及び特別の教科、道徳について、多くの御意見を頂いております。

内容につきましては、多様な生き方、考え方を

肯定的に育てる内容が記載された教科書を採択してほしい。自分で考え、クラスメイトとも話し合い、よりよい方向を目指す子供たちの助けになる教科書を望むといった御意見も頂きました。

また、市民の意見、先生方の意見を尊重して選んでほしいとの意見も頂きました。

意見書につきましては、選定委員会に資料として提示しております。また、選定委員会の委員中には、保護者の代表として、吹田市PTA協議会の方もおられ、保護者の視点で、それぞれの教科書に対しての意見を交換し、選定を進めてまいりました。

以上でございます。

○飴野仁子委員

要望書の提出はありましたでしょうか。

○西慎一郎学校教育室参事

令和5年度要望書資料を御覧ください。

要望書には、地域、教員及び保護者、地域住民の声を反映するように、また開かれた採択、公平な採択、人権、平和、共生、日本国憲法を尊重した採択を要望するなどがありました。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

では、御審議に入ります前に、本日の議事運営について、私から御説明をいたします。

この後、議案審議に入りましたら、まず、担当指導主事より、選定委員会からの答申について説明を受けることになります。質問などがありましたら、その際に発言願えればと思います。

御審議を頂いた後、それぞれ御意見なども伺い、教育委員お一人ずつの最終的な御意見を表明していただきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項に基づき、出席者の過半数に達した教科用図書を選挙いたします。

過半数に達していない場合は、過半数に達するまで議論を尽くしていただくことになります。また、同規定により、可否同数の場合は、私、教育

長の決するところにより、審議を決することにいたします。

よろしいでしょうか。

○西川俊孝教育長

では、日程第6、議案第44号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 国語 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○山笠善昭教育センター主幹・指導主事

それでは、「別表1-1、令和6年度使用教科用図書小学校用 国語」の選定具申の発行者順に御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

初めに、東京書籍について、御説明申し上げます。

まず、5年生の教科書を御準備ください。

東京書籍では、各単元に身につける資質・能力を「言葉の力」と明示しています。

72、73ページを御覧ください。

話す・聞く、書く、読むこと領域の学習では、初めに言葉の力が示されており、児童がどんな力を身につけるのか見通せるようになっています。

また、「見通す、取り組む、振り返る」の3ステップで「学習の流れ」が示されており、児童が身につけたい資質・能力への自覚を高めながら、学習に取り組めるよう工夫されています。

146ページを御覧ください。

東京書籍では、言葉の学びの土台づくりを目指し、文法と語彙に特化した「言葉相談室」が新設されています。児童のつまづきやすい事項を元に教材化し、言葉を正しく理解・表現する力の育成を図っています。

また、児童の学びを、多種多様な QR コンテンツでサポートできるよう工夫されています。

147ページを御覧ください。

「言葉相談室」などの小単元では、練習用のORコードが用意されており、児童に応じて補充的な学習に取り組めます。

166ページを御覧ください。

デジタルノート用の QR コードを読み取れば、デジタル上で情報の整理ができるようになっています。そのほか、ウェブ資料も豊富で、児童の考えや学びを広げられるよう、発展的な学習に取り組めるよう工夫されています。

次に、教育出版につきまして、御説明申し上げます。

5年生上、下の教科書を御準備ください。

教育出版では、持ち運びやすさ、見やすさに配慮されたつくりになっています。全学年において、上下2巻本(分冊)にすることで、軽量化を図っています。

また、各学年の巻頭には、学習領域が色別に示されています。

5年生上4ページから6ページを御覧ください。

「話すこと・聞くこと」領域は黄色、「書くこと」領域は青色、「読むこと」領域は赤色など、領域別にテーマカラーが設定されており、すべての学年で統一されています。

ゆったりとした紙面や、ユニバーサルデザインに配慮したオリジナルフォントを使用するなど、読みやすくなるよう工夫されています。

52ページ53ページを御覧ください。

物語文や説明文教材での学習の手引き「見通しをもとう」の下段、学習の進め方の説明においては、説明している場所が記号で示されており、児童が視覚的に捉えやすくなるように配慮されています。

最後に、光村図書出版です。

5年生の教科書を御準備ください。

52、53ページを御覧ください。

説明文教材では、練習教材が設定されており、メインの説明文への移行がスムーズに行えるように配列されています。

「学び方の工夫」では、個別最適な学びを充実させるための工夫がなされています。

光村図書出版、5年生、246ページを御覧ください。

説明文・物語文の手引きの冒頭に「問いをもとう」として、児童の問いを持たせる場面が設定されています。自分の問いを持つことで、学習の

めあてにつながるようになっていきます。

同じページの下段「選んで読み深めよう」を御覧ください。

選択課題を設定することで、児童一人一人の興味に沿って学習が進められるよう、工夫されています。

290ページ、292ページを御覧ください。

各学年の巻末では「学習に用いる言葉」「言葉のたから箱」が設定されており、思考や表現の助けとなるよう、語彙や文法について確認できるようにしております。

また、293、294を御覧ください。

2年生以上には、図を使って考える方法がまとめられており、考えを整理したり、広げたりする手がかりとなっております。

以上、国語に関わる3社につきまして、説明させていただきました。

○西川俊孝教育長

それでは、審議に入ります。御質問、御意見ありましたらお願いできますか。

○谷池雅子委員

特別支援教育の配慮など、児童の発達段階に考慮しながら、一人一人の学びを保障するために、どのような工夫がされていますでしょうか。

○山笠善昭教育センター主幹・指導主事

東京書籍では、特別支援教育の知見を生かして開発された指導法を取り入れて、入門期の文字習得段階で子供たちがつまずきやすい、例えば、特殊音節や助詞の記号を用いた視覚化や、QRコードを活用した動作化など、理解しやすくする工夫がなされています。

教育出版では、色調のバランスや形などを区別しやすいように配慮し、色覚での個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しております。

以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

児童が主体的に学習に取り組むための手だてが工夫されている出版社がありましたら、教えてください。

○山笠善昭教育センター主幹・指導主事

東京書籍では、2年生以上の巻頭に、国語の学習の進め方のページを設けております。年間通して、国語どのように学んでいくかを捉えることで、主体的に学習に取り組む態度を育むように工夫されております。

また、光村図書出版では、自ら問いを立て、学習を進めていく子供たちを育てるために、巻頭には「国語の学びを見わたそう」を設けており、学びの流れを整理されております。

以上でございます。

○和田光代委員

国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てることができるよう教材が扱われていますか。

○山笠善昭教育センター主幹・指導主事

各社とも、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育むための教材の生成に務められております。

東京書籍では、環境や資源、情報化社会、防災、安全などの様々な諸問題に関連させた深い教材は扱われており、興味深く読ませるような工夫がされております。そして、現代社会の課題に向き合うよう促されております。

教育出版では、子供たちにとって取り組む必要感が感じられる健康活動等が設定されており、日常の様々な場面で生きて働く言葉の力を育み、実生活に生かそうとする意欲を高められるよう工夫されています。

以上でございます。

○福田知弘委員

情報機器や学校の図書館を利用するなど、児童の興味関心を広げる工夫をされている出版社があれば、教えてください。

○山笠善昭教育センター主幹・指導主事

東京書籍では、図書単元「本は友達」として、年間3回設定されており、読書に親しむ習慣や、態度を育むよう工夫されています。

また、6年間で580冊以上の本を紹介されており、読書意欲を高める工夫がなされています。

光村図書出版では、筆者または作者のインタビュー動画を資料として閲覧することができます。作品に対して興味、関心をさらに広げる工夫が施されています。

以上でございます。

○飴野仁子委員

巻末収録について、それぞれの特徴を教えてください。

○山笠善昭教育センター主幹・指導主事

巻末収録につきましては、各社とも語彙を増やすことや語彙の活用を目的とし、各社とも取りそろえております。

東京書籍では「言葉の広場」、教育出版社では「言葉の木」、そして光村図書は先ほども申しました「言葉の宝箱」により、語彙を活用できるような巻末の工夫がなされています。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

では、他に御意見が無いようですので、国語についての審議を終了いたします。

議案第44号の「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 国語 の採択について」に関して、教育委員の方々の御意見を求めたいと思います。

○福田知弘委員

私は、東京書籍を推薦したいと考えております。理由といたしましては、4年前から今までを振り返ってみますと、GIGAスクール構想がかなり進み、端末を児童全員が持っているという状況で、紙という物理的なものをないがしろにするわけ

はないですが、端末とデジタルの教材をうまくつなげながら学びを主体的にできるようにしていく力が必要となります。その力を付けられる作りとなっているかどうかを1つの判断基準として設けました。

例えば、今の5年生でいいますと、单元ごとにQRコードがあり、前の学年でどうなっているかつながりを確認できた点、先ほど質問させていただいたように、学校図書館とのつながりについても詳しく書かれている点が良いと感じました。

もう1つ付け加えて申し上げますと、目次のところで各单元内容が、物語なのか、説明文なのかということが明示されている点も、これから説明文や論理的な文章を書く上においても学ぶ上においても、非常に大切なことかなと思っていたので、東京書籍を推薦させていただきます。

以上です。

○谷池雅子委員

私も同じく東京書籍を推薦させていただこうと思います。

その理由といたしましては、私はダイバーシティや神経発達症のお子さんのつまずきに対してどれだけ配慮しているかどうかを主にポイントにしたいと考えているのですが、東京書籍では、専門家が校閲し、そのような仕組みをきちんと取り入れているという点が挙げられます。

また、福田委員がおっしゃいましたように、ICTの対応もきちんと組み込まれている点も含めて、推薦したいと思います。

以上でございます。

○和田光代委員

私は、東京書籍がいいと思いました。

理由といたしましては、单元ごとに、身につける資質や能力が明示され、意識して取り組み、身につけた力を自覚でき、他教科にも生かす視点が示されているためです。

また、読書活動においては、図書館の使いこなし方が示され、読書体験を豊かにするために多様な本が紹介されているのも良いと思いました。

○安達友基子教育長職務代理者

私は、光村図書がいいと思いました。

理由といたしまして、国語の教科書でもICTの観点がとても大切ということは理解してはいますが、やはり子供たちが活字を読まなくなっている中で、その文学の良い作品に触れる機会というのは、教科書の中でもあったらいいなと思っており、その観点から見たときに、光村図書さんの教材選定に対してとても好感が持てました。

また、図書館を使うことに関しても、各教科書会社でも書いてはくださっておりますが、例えば、5年生で比べたときでも、光村図書さんは、図書館で蔵書の置き方がどのようになっているのかというところまで書いてくださっていたり、この作者の本を読みたいと思ったのであればこんな本もおすすめですよ、といった本の紹介を掲載していたり、子供を読書にいきなうことについて、本気で取り組まれていると感じたため、とても好感を持ちました。

私からは以上です。

○飴野仁子委員

私は光村図書を推薦いたします。

正直なところ、東京書籍と光村図書で大変迷いました。ただ、最終的なところでは、これは国語という科目でありますので、題材の捉え方、深く物事を考えるための考え方を重視し、この光村図書がよろしいのではないかと考えました。

ただし、意見として付け加えますと、著作権や情報の信頼性についての教え方、捉え方については、もう少し一歩踏み込んだものであればより良いと考えますので、先のこととしてお伝えいたします。この意味で、東京書籍さんには、著作権や情報の信頼性についての教え方、捉え方の配慮がありました。

ただ、国語という科目の性格性から、じっくりと物事を考える、読み込む力を重視し、そのような意味で、私は光村図書を推薦したいと思います。

以上です。

○西川俊孝教育長

それぞれの教育委員にお聞きをしましたところ、福田委員、谷池委員、和田委員が、東京書籍で、安達委員、飴野委員が、光村図書となっております。

多数決で決すると定めておりますので、今回の国語科の場合は、東京書籍となります。

では、議案第44号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 国語 の採決」につきましては、東京書籍を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

では次に、日程第7、議案第45号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 書写 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○加藤弘靖教育未来創生室主幹・指導主事

それでは、別表1ー2、令和6年度使用教科用図書（小学校用）書写の選定具申の発行順に御説明いたしますので、どうぞよろしく願いたします。

まずは、東京書籍についてお伝えをさせていただきます。

東京書籍では、授業の場面に合わせて活用できるアニメーションやシミュレーション教材が、QRコンテンツとして151項目用意されており、基本単元の導入時や、家庭等における自学自習の際の活用など、学びを効果的に高め、個別最適な学びを促すことができるようになっております。

また、1年生の4ページ及び5ページを御覧ください。

右利き左利きそれぞれの鉛筆の持ち方を、同じ大きさを縦に並べて示すことによって、児童がその場で手を重ねて確認ができるような工夫がなされておりました。

次に、3年生の18ページ及び6年生の38ページを御覧ください。

こちらにありますように、和紙や筆、すずりなどの作り方や、文字の歴史など、様々な観点から「文字文化」に触れることができるよう「文字とい

っしょに」というコラムが各学年に設けられており、児童が興味を持ち、学ぶ意欲を高めることができるような工夫がなされておりました。

では、続いて教育出版についてお伝えさせていただきます。

まず初めに、5年生の30ページを御覧ください。

ポスターにまとめる活動において、児童が意識しやすいように、工夫しやすいポイントが示されておりました。また、読み手を意識して書くことに対して、文字の大きさや余白の残し方、行間、改行の仕方について、話し合う活動が取り入れられております。

また、1ページめくっていただき、次の32ページを御覧ください。

ポスターについて、パソコンで作成する場合においても、書写で学習したことを生かすことができるような工夫が示されておりました。

次に、1年生の7ページを御覧ください。

鉛筆の持ち方に対して、合い言葉として「ぱちぱち」「ころころ」「すうっ」「とん」というものが示され、子供たちが対話的な学び学習で進めていくことができるようになっております。

次に、中学校への接続についてです。

6年生の44ページを御覧ください。

「発展」として、中学校で学習する「行書」について紹介されておりました。また、毛筆において、小学校と中学校で同じ図版を用いることで、新しい学習を無理なく積み重ねていくことができるようになっておりました。

最後に、教育出版では、自分で書いた文字と教科書のお手本、試し書きとまとめ書きを比較することができる「比較ツール」というものが設けられており、比較することで気がついたことを書き込むことができるなど、成果と課題を発見しやすくすることで、より個別最適な学びを深めていくことができるようになっておりました。

では最後に、光村図書出版についてお伝えをさせていただきます。

5年生の35ページを御覧ください。

「英語を書いてみよう」というところで、アルファ

ベットや英文の書き方について、取り上げられておりました。他にも生活や理科など、国語だけでなく、他教科に生かしていくための橋渡しとなるような教材が各学年に設けられております。

次に、書く場面での確認や文字文化への理解を深めるためのきっかけとして、活用することができる動画や写真、補助教材、参考資料などがQRコードで363項目設けられており、個別最適な学びを促すことができるようになっております。

また、児童が学びやすく、教師が教えやすくするための工夫としまして、教科書の横幅を5mm大きくしております。これにより、拡大した際に半紙と同じ大きさになるような設定がされておりました。

最後に、SDGsを意識した教材として、3年生から6年生の裏表紙に「SDGs×書写」のコーナーが設けられており、2年生や3年生の本文内でのコラムなど、様々な場面でSDGsについて取り上げられておりました。

また、4年生の21ページを御覧ください。

これらの中で特に4年生では「SDGsブック」というものを設けており、SDGsの達成に向けた書写の活動について、取り上げられておりました。

以上で、書写の各発行者順について御説明を終わらせていただきます。

○安達友基子教育長職務代理者

毛筆と硬筆の学習、両方行うと思うのですが、各発行者でこの2つが関連づけられているような工夫をされているところがあったら教えてください。

○加藤弘靖教育未来創生室主幹・指導主事

今回、この3社の発行者におきまして、毛筆で学習、どの発行者におきましても、毛筆で学習したことが硬筆での学習に生かされるような工夫がされておりました。

東京書籍4年生の2ページを御覧ください。

例えば、東京書籍のほうでは、書写の学び方ということで示されておまして、初めに「書写の

鍵」の中で、課題やポイントを見つけ、その後に毛筆で確かめを行うこと、そしてそれを経て、最後に硬筆でほかの文字に生かしていく。このような学習活動が組織されておりました。

また、同様に教育出版のほうにおきましても、3年生の21ページを御覧ください。

こちらのほうでも、毛筆で学習する教材について、学習の初めに硬筆による試し書きを行い、毛筆で学習した後に、最後にもう一度硬筆でまとめ書きを行う、このような流れで、毛筆で学習した内容が、硬筆でも生かしていくことができるような工夫がされておりました。

またその後に、そこで学んだ内容を生かそうということで、同じ狙いを持ったほかの文字が取り上げられておりました、毛筆での学びをしっかりと生かしていくことができるような活動が組織されておりました。

以上でございます。

○和田光代委員。

文字を書くことについて、低学年のうちに丁寧に指導する必要があると思うのですが、低学年の児童への指導等に活用できる教材について、各発行者、どのような特徴があるか教えてもらえますか。

○加藤弘靖教育未来創生室主幹・指導主事

まず、文字を書く基礎となることにつきましては、各発行者につきまして、1年生、2年生において、姿勢や鉛筆の持ち方、そして最後に水書用紙がついておりますので、その活用、ICTによる映像教材など、発達段階を考慮した内容となっております。

それ以外にされている工夫としましては、東京書籍、そして光村図書出版の中で、書写体操というものが設けられており、よい姿勢を保つための準備運動というものも紹介されておりました。

以上でございます。

○谷池雅子委員

前回の採択は、恐らく光村図書であったかと

と思いますが、現場の先生方の意見としましては、発行者ごとにどのようなものがございましたでしょうか。

○加藤弘靖教育未来創生室主幹・指導主事

現場の先生方から意見交換会において出てきた意見を御報告させていただきます。

まず、東京書籍につきましては、平仮名について大事な部分を分かりやすい擬音語を用いて表されている、筆の動かし方や、力加減について、端的な言葉でまとめられていて分かりやすいなどのお声を頂いております。

次に、教育出版社につきましては、習字において、穂先の向きが多く書かれており、筆の流れが分かりやすい、書写だけでなく、他教科や学年の学習活動に合わせたページが充実しているなどの御意見がありました。

そして光村図書出版につきましては、情報が1ページにまとまっており、すっきりと見やすい構成になっている、お手本君というデジタル教材が学習指導書に附属されており、見本の作成に役立つなどのお声を頂いております

以上でございます。

○飴野仁子委員

主体的な学びや、対話ができるような深い学びを進めるのに向けた工夫をされている点など、御紹介ください。

○加藤弘靖教育未来創生室主幹・指導主事

各発行者とも主体的、対話的で深い学びの実現に向けた手だてについて、工夫を取り入れられておりました。

例として、教育出版の3年生の5ページ、光村図書出版の3年生の10ページを御覧ください。

こちらのほうでは、書写での学習の進め方というものが書かれておりました、個人で学んでいくだけではなく、気をつけることや、気づいたところについて、互いに伝え合うような活動の場が設けられているように書かれております。

○福田知弘委員

書写で学習したことが、実際の日常生活に生かしていくことができるような工夫というのは、各発行者さんでどのようにされていますか。

○加藤弘靖教育未来創生室主幹・指導主事

どの発行者においても、日常の生活場面に書写を生かしていくような活動が取り上げられておりました。

例えばですが、教育出版5年生の3ページを御覧ください。

教育出版では、2年生以降の教科書におきまして、各目次のところでは、日常生活や他教科での学習に生かすことができるような場面が、見やすく一覧で掲載をされております。

また、光村図書出版や、東京書籍につきましては、生活に広げよう、書写広げたいなどのコラムが各教科書の中に設けられておりまして、その中で日常生活に役立つような取組について紹介をされております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

他に御意見、御質問がないようですので、議案第45号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 書写 の採決について」の各委員の御意見をお伺いいたします。

○福田知弘委員

私は、教育出版が良いと思います。

本で2次元のほうの画像テキストでは、書くという動作を理解しづらいため、各社さん動画が用意されており、動画を補足されているのは共通のいいなと思ったのと、あと何社かは、写真をかなり工夫して筆の姿勢も丁寧に紹介しているのは評価しています。

ただ、教育出版さんのほうは、先ほど問合せさせていただいたように、日常生活での活用とか、他教科への連動、接続、それから先ほどの5年生のところでも説明がありましたけれども、みんなでまとめていくような、いろんな使い方まで紹

介しているところで、学習の幅が広がるのではないかと判断しまして、教育出版を推薦させていただきます。

○安達友基子教育長職務代理者

私も教育出版がいいと思いました。

理由としては、1年生、2年生の低学年のところの鉛筆の持ち方などの書き方が分かりやすいなと思いました。また、先ほど御説明の中であった比較ツールがとても使いやすいと思いました。なかなか、自分の書いたものと比べるっていうことが今まであまりやりづらかった部分があり、それがすごくいいなと思いましたので、教育出版を推薦します。

○和田光代委員

私は東京書籍がよいと思いました。

理由としましては、単元ごとに整った文字を書くための原理、原則であるポイントを「書写のかぎ」として分かりやすく示され、そのポイントが巻末に全学年までに学習したことが系列ごとに掲載されており、繰り返し学習する中では、有効ではないかと思いました。

説明にもありましたように、初め、硬筆で課題を見つけ、その後、毛筆で確かめ、経て最後に硬筆でほかの文字を生かしていくような学習活動がよいと思いました。

○谷池雅子委員

私は、教育出版が良いと思いました。

その理由は、もうあくまで日本語をきちんと書くということにこだわった作りがされているかなと思ったからです。いろいろな生活上のセッティングで、きちんと書写するというところに、かなり深く取り組んでおられるのではないかと思ったことが1つと、先ほど安達委員おっしゃいましたように、比較ツールでお手本と比較して自分のフィードバックをかける工夫、これがユニークだと思いました。

以上です。

○飴野仁子委員

私は教育出版を推薦いたします。

幾つか他の出版社も丁寧なつくりされていたのですが、最後の決め手のところが、なかなかこれから書くことが少ないかもしれませんが、手紙の書き方の学習のところで、教育出版の中で、例文であるとか、お願いであったり、案内状であったり、封書の書き方なども掲載されており、特徴的だったように思いました。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、それぞれの委員から御意見をいただきまして、4名の方が教育出版、1名が東京書籍ということで、教育出版ということになります。

では、議案第45号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 書写」については、教育出版を採択することにいたします。

○西川俊孝教育長

それでは、日程第8、議案第46号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 社会 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○麦田達郎学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1-3、令和6年度使用教科用図書小学校用(社会)の選定具申の発行者順に御説明申し上げます。

初めに、東京書籍です。

6年生「政治・国際編」をお取りください。

12、13ページを御覧ください。

どの学年にも、こちらの「学習の進め方」のページがあり「つかむ・調べる・まとめる・いかす」という問題解決的な学習展開が、全学年で統一して示されています。

「つかむ」では、中心となる学習問題を確認し、共有することで、単元全体の見通しを持ち、「調べる」では、その時間ごとの「めあて」について、様々な方法で調べながら解決を図り、「まとめる」では、学習問題について、ノートやカード、新

聞、ワークシートなど、多様な表現でまとめられるよう構成されております。

また、単元末の「いかす」では、これまで学習してきたことを踏まえ、よりよい社会に向けて、自分ができることを考えられるよう工夫されております。

同じく、12ページの下段を御覧ください。

社会科の見方・考え方を働かせて、学習に取り組めるよう「空間・時間・相互関係・比較/分類/統合」といった視点や考え方が、キャラクターのイラストつきで各時間示されております。

また、13ページ右下にございますとおり、QRコードが、全学年を通して、随所に掲載されており、「学習計画」「インタビュー動画」「まとめワークシート」など、学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できるコンテンツが充実しております。

続いて30ページを御覧ください。

重要語句が「ことば」として取り上げられ、その語句についての解説もあります。

隣のページ、31ページ、単元末の「まとめる」の学習段階では、学習してきた「ことば」をもう一度載せて、学びを振り返ることができるよう工夫されております。

また、高学年では分冊となり、5年生の教科書は上・下に、6年生は「政治・国際編」と「歴史編」に分かれているのも東京書籍の特徴です。

続いて、教育出版について御説明申し上げます。

6年生の教科書6ページ、7ページを御覧ください。

各単元「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」という学習展開で構成されています。問題解決的な学習の進め方が身につくよう、巻頭で「社会科の学習の進め方」が掲載され、各ページでは今、どの学習段階なのかが明示されています。

具体例として、50ページ、51ページを御覧ください。

左端に「つかむ・調べる・まとめる」のうち、この時間は「つかむ」の学習段階であることが示されております。また、1つの見開きが1授業時間当たりの基本構成となっているのですが、授業時間ご

とに「この時間の問い」と「次につなげよう」が示されており、小単元を通して問題の追求に連続性が生まれるよう工夫されております。

続いて152ページを御覧ください。

「まとめる」では、ダイヤモンドランキングなどの「思考ツール」が示されています。学んできたことを基に話し合ったり、表現したりしやすいよう工夫され、児童が公正に判断したり、多角的に考えたりすることができるよう取り扱われています。

続いて、1ページを御覧ください。

ページ右上に、登場するキャラクターの紹介があるのですが、車椅子に乗った児童や、外国に、海外にルーツがあると思われる児童が登場するのが特徴的です。人権や共生について学び、考えていくことができるよう配慮されております。

最後に212ページ、213ページを御覧ください。

6年生の歴史分野では、52点の白黒写真の資料が、カラー化されております。これは、児童の興味・関心を高めるとともに、当時の様子をより実感を伴ってイメージできるようにと工夫された、教科書において初めての試みとなっております。

最後は、日本文教出版です。

6年生の教科書、2ページ、3ページを御覧ください。

こちらは、「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほり下げ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という単元構成を基本とし、それぞれの学習段階の「めあて」が明示されています。

34、35ページを御覧ください。

こちらは、「問題をほり下げ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という学習段階ですが、話し合いの場面が設定され、自分の考えを表現するとともに、対話的な学習の例が具体的に示されています。

続いて36、37ページを御覧ください。

児童の発達段階に応じた文の量、分かりやすい表現で記述されており、例えば、本文に関連資料の番号が示してあったり、キャラクターが児童

の思考の流れを作るような問いかけを行ったりしています。

重要語句については「キーワード」として取り上げ、社会科の見方・考え方についても分かりやすく明示されております。

58ページ、59ページを御覧ください。

3社のうち最もSDGsに力が入れられており、各単元の最後にSDGsと関連したページが設けられているのも特徴です。いずれの学年においてもSDGsの目標シールが巻末についており、1年間の学習をSDGsの観点から、自分事として振り返られるようになっております。

社会についての説明は以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御質問、御意見お願いをいたします。

○福田知弘委員

ありがとうございました。国旗ですとか、国歌についての各社の取扱い、それから領土を巡る問題についての取扱いはどういうふうになっているのでしょうか。

○麦田達郎学校教育室主幹・指導主事

各社とも、学習指導要領に基づいて4年生、5年生、6年生において、他国の国旗とともに日本の国旗についても示した上で、互いに尊重し合うことの大切さについて明記されております。

また、6年生においては、国旗と併せて国歌、そしてその成り立ちについても明記されております。

同様に、領土を巡る問題につきましても、各社5年生、6年生で北方領土を取り扱い、竹島、尖閣諸島についても記述されております。

この点では、3社のうち、教育出版が最も詳しく3ページにわたって記述されております。特に日本の立場と併せて、平和的な解決に向けての粘り強い努力の必要性についても触れられております。

以上でございます。

○飴野仁子委員

ありがとうございます。各社の教科書で、人権に関わる工夫や、配慮というのはどのようになっているのか教えてください。

○麦田達郎学校教育室主幹・指導主事

一応3社とも、様々な単元で世界との共生、基本的人権、生命の尊重に配慮してつくられています。

また、各社のキャラクターにおいても、男女に偏りがないよう登場し、特に発言の割合についても調整されています。

特に教育出版については、冒頭に申し上げたとおり、車椅子に乗った児童や、外国にルーツがあると思われる児童が登場するのですが、東京書籍では、ジェンダーレスな見た目のキャラクターが登場しており、LGBTQ への配慮も伺えます。

以上です。

○谷池雅子委員

6年生で学ぶ近現代史の扱いについて、割かれているページ数や、配当の時間は各社どのぐらいの差がありますでしょうか。

○麦田達郎学校教育室主幹・指導主事

6年生の近現代史については、東京書籍では計38ページ、配当時間は20時間となっております。

教育出版は、計47ページ、配当時間は24時間となっております。

日本文教出版は、計46ページ、配当時間は22時間となっております。

以上です。

○和田光代委員

実際に教科書を活用する現場の先生からの意見では、発行者ごとにどのようなものがありましたか。

○麦田達郎学校教育室主幹・指導主事

現場の先生方の意見としては、東京書籍につ

いて、5年生、6年生は分冊になっており、持ち運びがしやすい。資料が多く、データも見やすい。QRコードからワークシートや動画が見られ、ICTを活用して学習に取り組めるという意見がございました。

教育出版については、授業ごとに、この時間の問いと次につなげようが設定されており、課題の追及に連続性が出るよう工夫されている。太平洋戦争のところで、人々の生活や子供の暮らしについて詳しく書かれており、児童が戦争と平和について考えをより深めることができると感じた。6年歴史の白黒写真の多くがカラー化されていて、当時の様子をイメージしやすい。という意見がございました。

日本文教出版については、SDGsとの関連を強く打ち出しており、巻末のシールやコラム等も充実している。イラストや写真の構成がよく、児童の思考の流れに沿っている。班での話合いや発表の様子が詳しく書かれていてよい。という意見がございました。

なお、教育出版と日本文教出版については、どの学年も1冊にまとまっているので、管理や復習がしやすいという意見が多くございました。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御意見、質問ないようですので、審議を終了して、議案第46号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 社会科 の採決」について、各委員の御意見をお伺いいたします。

○福田知弘委員

ありがとうございました。私は、教育出版がいいと考えております。

理由としましては、資料がバランスよく構成されている、それから国際社会での日本の活動をはじめとして、多面的に考えながら知識を深めていくためには、一番有効的な教科書ではないかというふうに思いました。

最後に、なかなか経験しない年代の活動って、想像しにくいのですけども、白黒の写真を、AIを

用いてカラー化に努められているところも良く、より身近に感じることができるとは思いませんかというふうに考えております。

以上です。

○谷池雅子委員

私も教育出版がいいのではないかと思います。

その理由としまして、例えば自衛隊の合憲性とか、非常に難しい問題に関して、いろいろな意見をニュートラルな記載にしているというのがやっぱりいいのかなと思います。

それとやはり先ほども質問しましたが、意外と日本人の子供が知らない近現代史について、ページを割いて書いているということが2つ目。

それと先ほど申されましたけど、つかむ、調べる、まとめる、に左に小さいタグがついていて、見開き2ページで、非常に見やすくいいのかなと思いました。

以上です。

○安達友基子教育長職務代理者

私も教育出版がいいと思いました。

理由としましては、先ほどからほかの委員の方もおっしゃっているように、なかなかその議論があり得るところについて、一面的なものを見方を書くのではなくて、多面的に書いていってほしい。という考え方もあり得るといって、ニュートラルな書き方になっているのがとてもいいなと思いました。

それと、人権についての取扱いも、キャラクターのことももちろんそうなのですが、それだけではなく、本文の中でもハンセン病と人権侵害のことであったり、アイヌであったり、そういったこともきちんと本文で触れられていて、配慮が行き届いているというふうに感じました。

それから、写真のカラー化も、子供たちにとっては、やはりその白黒の写真だと自分たちとは少し関係のない遠い昔の話のように感じることを、このようにカラーにさせていただくことで、特に自分事として考えてほしいその戦争以降のことについ

て、より深く考えることができるのではないかと思いますので、教育出版がいいと思います。

○和田光代委員

私も教育出版がよいと思いました。

先ほども御意見にあったように、写真がカラーになっていることで、子供たちの興味・関心が引けるということと、あと載っている写真が割と大きく見やすく載っているのと、図とか表、絵が、大きく表示されていることで子供たちの気持ちをぐっとこう引き寄せるのではないかなと思いました。

あと、学習の進め方も分かりやすく、学習の展開を組み立てやすいのではないかなというふうに思いました。

あと、5年生の教材の中で、自分で調べて考えるというページがあるのですが、これは自分で資料を選び、それでポイントを手がかりにして考察し、共有するという形で、個に応じた主体的な学びが設けられているのがいいと思いました。

○飴野仁子委員

私もこの教育出版を選びます。

理由は、高学年で歴史と現代史で分かれておらず、一体的に学べてよいのではないかと。

それから、今までも御意見出ましたけども、バランスよくいろいろな意見が反映されているのではないかと。

社会と関わる日本ということ、現代史のところの記述が非常にいろいろなことを紹介されているように思いました。

貿易の説明でありますとか、例えば、一体どこから原材料を輸入して、そして製品になり、それがどこへ行くのか、それを担う輸送手段とともに、世界との関わりが具体的にいろいろなことと共に説明されているような記述が、よろしいかと思いました。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

5名全員の方が教育出版ということで、議案第46号「吹田市令和6年度使用教科用図書小

学校用 社会 の採択について」は、多数決の上、教育出版社を採用することといたします。

○西川俊孝教育長

次に、日程第9、議案第47号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 地図 の採択について」審議及び採決を行います。

事務局の説明を求めます。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1-4、令和6年度使用教科用図書小学校用地図の選定具申の発行者2社につきまして御説明させていただきます。

地図につきましては、東京書籍と帝国書院、両社に大きな違いが現れておりました1ページ当たりの情報量とデジタルコンテンツの、この2つの点についてお話させていただきます。

1点目、1ページ当たりの情報量についてございます。

東京書籍は、各都市の特色を一元的にまとめて掲載していることが特徴でございます。ページ数が少なく、必然的に、1ページ当たりの情報が多くなっております。

一方、帝国書院は、ページ数が多く、各都市の特色について、拡大地図に分散して掲載していることが特徴です。情報を分散させているため、結果的に1ページ当たりの情報は少ない傾向がございます。

具体的に教科書を御覧いただきながら、御説明させていただきます。東京書籍は51ページ、帝国書院は77ページの「札幌市周辺」を御覧いただけますでしょうか。

東京書籍では、札幌の文字の下に「定山溪ダム」や温泉マークの左に「定山溪」と書かれてありますが、帝国書院では、地図記号のみとなっております。1ページ当たりの情報が多く、各都市の特色をまとめて掲載していることは、東京書籍の1つの特徴であり、地図が好きで、地図を読むことが得意な児童にとって、使いやすいものとなっております。

一方、帝国書院では、1ページ当たりの各地方

名や名所等の情報量を減らし、ページ数を増やすことで情報を分散させております。

帝国書院の次のページ、79ページを御覧ください。

こちらは、北海道南部の拡大地図でございます。先ほどのページにはなかった「定山溪ダム」は、こちらに掲載されています。

主要都市部の拡大地図は、北海道だけではなく、愛知県や吹田市のある大阪府でも見られ、細かな情報は、拡大地図に掲載されております。

このような、情報を分散させ、1ページ当たりの情報を少なくする帝国書院の特徴は、地図帳を初めて使用する3年生の児童や、情報の整理を苦手とする児童にとって見やすいものとなっております。

続きまして2点目、デジタルコンテンツについて御説明させていただきます。

東京書籍は、地図帳で掲載されている地図を、そのままタブレットで表示でき、自由に拡大・縮小も可能となっております。内容は、地図とリンク集のみと、シンプルなつくりとなっております。

また、白地図も用意されているため、様々な使い方で地図に親しむ工夫がされております。

帝国書院につきましては、地図が都道府県ごとに掲載されており、交通や主な農林水産物も一目で分かる工夫がされているため、都道府県の特色を捉えやすい工夫がされております。

児童が興味の幅を広げられる工夫がされております。さらにサイトのレイアウトも分かりやすいため、児童が直感的に活用することも可能となっております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

○安達友基子教育長職務代理者

情報量のことをお聞かせいただいたのですが、その地図の見せ方について、両者で違いがありますか。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

例えば、陸の高さにおける色の使い方の違い等がございます。

東京書籍51ページ、帝国書院の77ページを御覧ください。

東京書籍におきましては、低地に緑を採用しております。田畑の色にも緑を採用していることから、平地が分かりやすいのではないかという特徴があります。

帝国書院は、低地を薄いクリーム色とし、田畑の緑と区別しております。また、高地の色に濃い茶色を採用しており、高低差が分かりやすいといった特徴がございます。

以上でございます。

○福田知弘委員

世界地図に関しまして、両社の違いございますか。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

世界地図では、日本地図にあった高低差について、両者間で大きな違いはございません。

ただ、東京書籍の特徴は、59ページ御覧いただけますでしょうか。

アフリカ大陸など、大陸ごとにページ割りをしていることが大きな特徴でございます。大陸ごとに地図を拡大しているため、大陸ごとの地形や特色を捉えやすくなっております。

一方、帝国書院85ページを御覧ください。

アジアやヨーロッパ、北アメリカといった国や州が密集している地域について、国や州ごとに色分けを行っていること、これが特徴となっております。

国の形であるとか、国境を分かりやすく示すことにより、視覚的な支援がなされているところでございます。

以上でございます。

○谷池雅子委員

先ほどちょっと QR コードについてお話し

しましたけど、授業での活用イメージということ、両書籍、出版社で御説明いただけます。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

両社とも、端末の画面をそのまま写真に収めることができるスクリーンショットの機能を使用することで、地図等へ書き込みを行うことが可能となっております。

紙面の場合ですと、一度ペン等で書き込むと消すことできませんが、デジタルですと書き込みであるとか、消去が可能でありますし、複製も簡単に行うことができます。

こういった特徴がある中で、両社の活用のイメージの違いについても、御説明させていただきと思います。

東京書籍は、何も書いていない白地図があることが特徴でございます。これは帝国書院にはございません。児童が調べた情報を自由に書き込み、児童それぞれのオリジナルの地図を作成することが可能となっております。

一方、帝国書院でございますが、コンテンツは非常に豊富です。地図クイズ、地図の約束事等、12のコンテンツがあり、様々な授業スタイルに対応することが可能となっております。

これは、主なコンテンツが5つの東京書籍と大きく異なる点でございます。

サイトのレイアウトが見やすく、都道府県ごとのデジタル地図が用意されているなど、視覚的な支援についても配慮がある設計がされております。

以上でございます。

○和田光代委員

日本の領土についての取扱いはどのようになっていますか。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

両社とも、適切に取り扱われております。

東京書籍につきましては、15ページ、16ページ、御確認ください。

御覧いただいております15ページ、16ページ

が、領土を特集したページとなっております。尖閣諸島につきましては、19ページの沖縄のページにて。竹島につきましては、25ページ、島根県のページでそれぞれ写真つきで掲載されております。

同じく帝国書院につきましては、31ページ、32ページで、領土について取り扱っており、尖閣諸島や竹島、北方領土についても同ページで写真つきで掲載されております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

他にございませんか。御意見も含めて何かありませんか。

では、2社ということで出ておりますが、各委員の御意見をお伺いしたいと思います。

○福田知弘委員

私は帝国書院がいいと考えております。

理由としましては、先ほど御説明にもありましたけども、縮尺が同じ地域を対象にしても多段階に分かれていて、それに合わせて情報量が適切に配置されているというところで、理解がしやすいということをまず挙げたいと思います。

もう一つは、着色ですとか、地図のルールですとか、そういったところも分かりやすくデザイン、説明されていると感じております。

以上です。

○安達友基子教育長職務代理者

私も帝国書院がいいと思います。

まず、地図は先ほど福田委員がおっしゃったとおりで、子供にとって見やすいのではないかなというふうに思ったのと、あとデジタルコンテンツもたくさんあって、子供がこう楽しく地図に親しむことができるのではないかなと思いました。

以上です。

○和田光代委員

私も、帝国書院がいいと思います。

地図で、山が浮き立つように立体的に表現さ

れているのは、子供たちにとって興味、関心が持てるような工夫かと思います。

また、情報量が多いということですけど、学習の中でも役立つのではないかなと思いました。

○谷池雅子委員

私も、同じく帝国書院が良いのではないかと思います。

1つは、やっぱり情報量、段階的に少なめから多めというふうに提示していくことで、社会のとても苦手なお子さんでも取り組みやすいかなということが1つと、やっぱりデジタルコンテンツの内容が、やはり帝国書院のほうが豊かかと思いました。

以上です。

○飴野仁子委員

私も、帝国書院を推薦いたします。

理由はやはり、どんどん地図に引き込まれるような、学びやすいつくりになっているのではないかということと、情報量の整理がされているのでいいのではないかなと思いました。

以上です。

○西川俊孝教育長

それでは、5名の方、全員が帝国書院ということでした。

では、議案第47号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 地図の採択について」は、帝国書院を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

日程第10、議案第48号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 算数 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1-5、令和6年度使用教科用図書小学校用（算数）の選定具申の発行者順に御説明いたします。

はじめに、東京書籍について、御説明申し上げます。

5年生上をお取りください。

16ページを御覧ください。

単元導入時にQRコンテンツとして日常生活の場面を想定した「オープニングムービー」を設け、学習動機ができるように工夫されております。

次に、6年生をお取りください。

65ページを御覧ください。

2年生以上の各単元末において、「つないでいこう算数の目」が設定されており、単元の学習で大切にしたい数学的な見方・考え方を振り返り、児童自身が成長を実感し、生活や次の学習へ生かそうとする態度を養えるよう工夫されております。

最後に、6年生の220ページから230ページを御覧ください。

「中学校体験入学コース」「算数卒業旅行」を設け、中学校の数学の内容に具体的に触れ、中学校の学習への関心や安心感が高まるよう工夫されております。

続きまして、大日本図書について、御説明申し上げます。

まず、1年生②、2年生、3年生、4年生の教科書をお取りください。

6年間を通して、演算決定する力を高めるために、例えば1年生②、117ページ、ドット図、続いて2年生192ページ、テープ図、3年生129ページ、線分図、4年生149ページ、数直線図のように、系統的に取り上げ、徐々に使いこなせるよう配慮されております。

次に、キャラクターやイラスト、写真について、異文化理解を促すため、2人を外国にルーツを持つ児童や、算数に関わる外国の文化、言葉を紹介するなどされております。

最後に、6年生の教科書をお取りください。

160ページなどでは「なるほど算数教室」を設け、面白い算数の問題やお話、社会で生かされている事例を取り上げられております。

続いて、学校図書について、御説明申し上げます。

まず、6年生の教科書をお取りください。

9ページから11ページを御覧ください。

2年生以上の上巻の冒頭に「算数で見つけたい考え方モンスター」のページを設け、見方・考え方を具体的な例を示しながら解説を行い、意識して自ら課題を解決できるよう工夫されております。

また、課題を解決するために既習内容を思い出すことができよう、新しい考え方を使う場面でモンスターを設け、知識の積み重ねが確実にできるよう工夫されております。

次に、6年生208ページを御覧ください。

単元末の「ふりかえり」で、個々の習熟に柔軟に対応できるよう、複数単元の内容、生活の中の算数などを題材に、基礎・基本の学習をさらに習熟でき、それらを使って総合的・発展的に考えられるよう工夫されております。

最後に、教科書が一般的なB5サイズより若干横長で左右にスペースがあり、メモ書きができることや、教科書を開いたときに平らに開きやすい教科書となっております。

また、ICT機器の使用することの利便性や効果的かつ正しい使用方法について記載されていることも特徴です。

続いて、教育出版について御説明申し上げます。

まず、全学年の単元の導入で、身近な場面や日常の活動等から、児童が問題を発見し、算数を使える場面があることに気づかせるよう問題設定になっております。

次に、5年生の教科書をお取りください。

300ページを御覧ください。

問題解決の必要な知識・技能等の振り返りページとして「学びのマップ」を設けており、分からない箇所があるときや関連する内容を「まとめアニメーション」で確認することができ、児童の習熟度に応じて支援できるよう工夫されております。

最後に、写真と絵が多く、児童の想像力に働きかけ、内容を理解しやすいよう工夫されております。

また、4年生上の教科書をお取りください。

117ページを御覧ください。

活動場面では、写真を用いて動機づけをし、作図の書き方等、連続写真や利き手に配慮された動画を用いて、児童が視覚的に理解できるよう工夫されております。

続いて、啓林館について御説明申し上げます。

まず、1年生最初の「すたあとぶっく」の教科書をお取りください。

全体的にブロックが置きやすく、字が書きやすいよう工夫されております。また、幼少期の体験のダイナミックな写真を掲載し、問いかけの文とともに、自己の体験に基づいて対話ができるよう工夫されております。

次に、5年生、6年生の教科書をお取りください。

他の発行者とは違い、5年生134ページの「面積」では、「三角形の面積」を学習してから「平行四辺形の面積」。6年生70ページ「場合の数」では、「組み合わせ」を学習してから「並び方」で取り扱っていることが特徴です。

最後に、6年生の目次、表紙の2面を御覧ください。

写真やイラストについては、性別による役割を固定することなく、他国ルーツの児童や車椅子など、配慮されております。

また、6年生72ページ、73ページを御覧ください。

大切な「見方・考え方」については、キャラクターに大切なことを吹き出しで語らすことや、マーカーペンで強調するなど、児童が考える道筋を示しております。

最後に、日本文教出版について、御説明申し上げます。

まず、3年生上をお取りください。

10ページを御覧ください。

各学年の冒頭の教科書の使い方では、デジタルコンテンツについて説明が明記され、学習の助けになるようになっております。

また、3年生最後のページを御覧ください。

巻末では、問題解決的な学習過程と学習を進

めていく際の着眼点をまとめた箇所、話し合いや振り返りの観点を明示し、算数の学習の進め方を常に確認できるよう「学び方ガイド」を設け、問題解決に当たって、いつでも立ち戻ることができるようにしております。

以上となります。

○西川俊孝教育長

それでは、御意見、御質問ありましたらお願いをいたします。

○和田光代委員

児童が学習する上で、興味関心を持つように工夫されていますか。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

全発行者とも、単元の導入において、日常生活で起こり得る場面が描かれ、身近な疑問から解決し、必要性を持って問題に向き合うようになっておりますが、特に学校図書では、日常生活での場面から問題を発見し、それを算数の課題として取り組むことができるような場面として「?を発見」を設けております。

また、東京書籍では、先ほど説明させていただきましたとおり、単元導入時にQRコンテンツとして、日常生活の場面を想定したオープニングムービーを設け、学習動機ができるように工夫されております。

以上でございます。

○谷池雅子委員

支援が必要な子供に対しての配慮について、各社特徴的なところがありましたら教えてください。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

全発行者とも、全体的に読み取る段階でのつまづきを解消するように工夫されておりますが、学校図書では、できるだけ1つの番号につき、課題が1つになるよう、混乱を避けるように配慮されております。

また啓林館では、全ての主問題である本図の問題について、QRコードから解決動画のコンテンツを視聴でき、個別最適化、家庭学習にも対応できるように工夫されております。

以上でございます。

○福田知弘委員

児童がつまずきやすい内容について、どのように説明するかなど教えてください。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

全発行者とも、児童がつまずきやすいところを繰り返し示すことや、学び直しができるようになっております。

特に、学校図書では、算数パトロール隊で、よくある誤答例や、注意点を明記し、基礎的、基本的な力を身につけることができるようになっております。

また、教育出版では、各単元末のまとめ、「考えるヒント」を設け、問題に取り組むきっかけをつかめるように支援しております。

以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

発展的な学習について、何か特徴的な出版社があったら教えてください。

○速水亮仁学校教育室主幹・指導主事

全発行者とも、補充問題、設けておりますが、東京書籍、大日本図書、教育出版、啓林館は2段階の問題を設け、習熟度に応じて取り組めるようになっております。

また、日本文教出版では、算数マイトライで、3段階の難易度に分けた補充問題が用意されております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

ただいま質問承りました。それでは、各委員の御意見を伺いたいと思います。

○和田光代委員

私は、学校図書がよいと思います。

段階的に無理なく確認しながら学習を進めていけるような工夫があり、御説明にもあったように、見方・考え方が示され、つまずきやすい内容についても対応され、興味・関心が持つようにも工夫されているのがよいと思いました。

○福田知弘委員

私も学校図書がいいと考えております。

これが一番のポイントですけれども、先ほどもありましたように、つまずきやすいところ、例えば割合とか、いろいろあると思うのですけれども、その辺りについて非常に丁寧に書かれていて、何故それが必要かということも詳しく説明されている。

これは発展的なところなのですけれども、他にも、高学年になりますと、目次の索引のところ、英語で説明されているものもあり、いい取り組みではないかと思っております。

以上です。

○谷池雅子委員

私は東京書籍を推薦いたします。

なぜかと申しますと、将来のデジタル化に向けて、QRコンテンツを非常に充実させているからです。支援が必要な子供に対しても、対応できるような方向性が示されているのではないかと思います。東京書籍を推薦させていただきました。

○安達友基子教育長職務代理者

私も東京書籍がいいと思いました。

理由は、谷池先生もおっしゃったように、QRコンテンツが充実しているなと思ったことと、あと算数って、結構その習熟度において差が出やすい教科だと思っていて、巻末に補充の問題があるというだけではなく、ふだんの学習から、その習熟度で分けて授業をするようなときに、2段階で問題があるほうがいいのではないかと思います。

以上です。

○飴野仁子委員

私も東京書籍を推薦いたします。

理由は、どの教科書も丁寧な作りではあったのですが、東京書籍の作りは一層丁寧だと思いました。

それから、習熟度別に、1人で勉強ができ、成績が伸びてきている子から見ても、自学に向けた使い方ができるのではないかと思います。

あとは、東京書籍の推薦された委員の方と同じ意見です。

以上です。

○西川俊孝教育長

3名の委員が東京書籍、2名の委員が学校図書ということで、東京書籍ということになります。

それでは、議案第48号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 算数 の採択について」につきましては、東京書籍を採択することいたします。

○西川俊孝教育長

では、次です。日程第11、議案第49号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 理科 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1-6、令和6年度使用教科用図書小学校用（理科）の選定具申の発行者順に御説明いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

理科につきましては、5社の教科書を調査いたしました。各社とも、随所に工夫があり、それぞれ力を入れていた点が見てとれました。

それでは調査結果につきまして、各社全て6年生の教科書を御覧いただきながら御説明させていただきますので、6年生の教科書を御準備ください。

では、順に行かせていただきます。東京書籍についてです。

自然事象等について、理科や観察、実験などに関する基本的な技能や問題解決能力や、問題

解決しようとする態度を養うための工夫が見られました。

6年生の155ページを御覧ください。

「問題をつかもう」で身近なものに疑問を投げかけ、問題を見つけることから始まります。

続いて156ページの「計画をしよう」で、児童がつまづくことなく計画を立てられるように、丁寧に条件制御について説明がされております。

そしてめくっていただいて、158ページの「考察しよう」で、児童がより妥当な考えにたどり着けるように、考え方のヒントとなるものを示しており、児童が様々な要因を基に、科学的に考察していくことができる作りとなっております。

続きまして、大日本図書を御準備ください。

大日本図書では、SDGsについて正しく理解し、持続可能な社会の作り手の育成が図れるような、資料や構成の工夫が見られました。

具体的に申し上げますと、6年生の18ページ、19ページを御覧ください。

SDGsのマークとともに、単元に関連した環境問題を取り上げた資料を掲載しております。

また、81ページ、お開きください。

実験観察にも、環境保全に関わる事項にマークをつけて示しております。児童が学習を通じて環境保全への意識が高められるような工夫がございいます。

また、201ページからは、6ページにわたって身近な課題から地球レベルの課題まで、幅広い視点で考えられるような内容となっております。

では、学校図書に行きたいと思います。

学校図書では、児童をひききつける工夫について2つ御紹介させていただきます。

1つ目が、6年生の4ページを御覧ください。

子供が問題解決する過程で育成を目指す「資質・能力」を、「理科モンスター」として示しており、その後の24ページには、理科モンスターの1つである「多面カンガルー」が載っております。児童自身が目標を達成したら、キャラクターの横のハートを塗る仕組みとなっており、子供が学びを実感し、理科に親しみを持ち、楽しみながら学ぶ工夫がございいます。

2つ目の特徴といたしまして、リアルなイラストや資料を多用している点でございます。

例えば、同じ6年生、41ページから45ページまでめくって行って御覧ください。

非常にリアルな人体のイラストが掲載されており、児童を引きつけられるのではないかと教員からの意見がございました。

続きまして教育出版でございます。

6年生、9ページを御覧ください。

右上のところに学習前の〇〇さん、とあり、これがこの単元の最終ページ、単元末の22ページ。単元末の22ページには、学習前の〇〇さん、学習後の〇〇さんと記載されております。児童がその単元の学びを振り返り、学習の前後の成長が実感できるような工夫がございました。

また、教員にとっては、その工夫が見通しを持った授業づくりの目安になるのではないかとこの意見もございました。

また、いずれの学年も、裏表紙御覧いただければと思いますが、裏表紙に観察・実験を行う際の注意・危険事項を掲載しており、子供が教科書を開かなくても目に留まり、注意や危険事項について、意識できるような工夫がある点も、この教科書の特徴でございました

最後に、啓林館でございます。

特に理科の見方・考え方を育てるための工夫や配慮が見られました。6年生、5ページ、御覧ください。

5ページの右側に掲載されておりますとおり、緑色のマークで見方・考え方に関わる語句、例えば「質的な見方」「多面的な見方」等にアンダーラインがされており、子供の主体的な問題解決をさりげなく支援しております。

また、214ページから215ページをお開きください。

巻末にも「理科の見方・考え方」の解説ページが設けられております。理科の「量的・質的・共通性・多様性・時間的なもの・空間的なもの」といった見方であるとか、「比較する・関連づける・条件制御する・多面的に考える」といった理解の考え方を、児童が様々な場面で働かせたくなるような

工夫がされておりました。

また、いずれの発行者もQRコードから多種多様な動画等のコンテンツが閲覧できるようになっておりましたが、啓林館では、どの学年においても最後のページでございます動画の映像を見たのち、問題に答える「WACBT」が載せられていることが特徴的でございました。

これは、GIGA 端末の導入に伴い、今後様々な試験がコンピューターでの試験になることを見据えたもので、例えば映像を見た後「夏と冬で線路の継ぎ目の隙間が違う理由について」既習した内容を基に根拠のある予想を発想するような問題が準備されており、理科の学習を振り返りながら、読解力であるとか、情報活用能力を育む工夫となっております。

私からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

○西川俊孝教育長

それでは、ほか質問、御意見ありましたらお願いいたします。

○谷池雅子委員

理解が苦手な子供でも楽しく勉強できるという意味では、どの教科書がその点で特化しているでしょうか。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

いずれの教科書にも、それぞれ日常生活と関連づけることによって、理科が苦手な子供でも興味を学ぶことができるような工夫はありました。

例えば、東京書籍であると、6年生の153ページ御覧ください。

このように、各単元に理解の世界、探求部、理科の世界探検部として、日常生活に関わる様々なコラムが掲載されております。理解に苦手意識がある子供でも、理科が身近となるような工夫がされておりました。

また、啓林館のほうも御覧ください。

啓林館巻末、3年生の巻末170ページ。

啓林館の3年生の170ページに、おもちゃラン

ドであるとか、学年異なるのですが、6年生の212ページですかね、ものづくり広場のような、実際に当該学年で学習した内容を踏まえて、ものづくりするようなページが設けられており、今、おっしゃっていただいたように理解の苦手な児童が、ものづくりを通して理解を好きになるような工夫がございました。

私からは以上でございます。

○福田知弘委員

プログラミング教育を実施するに当たって、学習しやすい出版社があれば、教えていただけますか。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

各教科書とも、プログラミング教育につきましては、各社工夫の下、十分に取り入れられておりました。

同じ6年生の電気の単元に関わって、プログラミング教育で各社を比較いたしますと、東京書籍、啓林館、学校図書は、別途のアプリケーションであるとか、専用の機材を準備する必要なく、QRコードからアクセスできるホームページ上でプログラミングを体験できる仕様になっておりました。

今、申しあげましたその3社を比較いたしますと、東京書籍の6年生の148ページです。啓林館は、6年生の183ページになります。学校図書も同じく6年生の198ページでございます。

今、お聞きいただいているページが、それに該当いたしますが、特に啓林館は目的が明確で、プログラミングを取り組む画面がシンプルで使いやすいとの意見が現場の教員から寄せられておりました。

また、啓林館につきましては、3年生、4年生、5年生、6年生等、発達段階に応じて各学年プログラミングを体験しながら、理論的な思考を育むような作りとなっており、学習しやすいのではないかという意見がございました。

以上でございます。

○和田光代委員

サイズの違いがあるが、ふだんの学習や実験でタブレットも活用しながら、活用しやすいサイズの教科書はどれか教えてもらえますか。

○園田章学校教育室主幹・指導主事

サイズにつきましては、やはりタブレットを活用しながら授業や実験で教科書を活用した場合、最も小さいサイズであるAB版の学校図書、啓林館が使いやすいではないかという意見がございました。

加えて、この2社、学校図書と啓林館の教科書をお手元に置いて開いて御確認いただければと思うのですが、紙の材質に違いがございまして、啓林館のほうが、児童が鉛筆で書き込みやすいのではないかというふうに現場の教員が申しておりました。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

御意見含め、何かありませんか。

ないようですので、それぞれ各委員に発行者を挙げていただきたいと思います。

○安達友基子教育長職務代理者

私は、啓林館がいいと思いました。

理由としましては、図とかあと実験のときのイラストなどがほかの各社、見やすくつくっていただいておりますが、その中でも特に見やすい印象を持ちました。

また、プログラミングのところもとても使いやすいそうだと思います。

更に、先ほど和田委員からの御質問でもあったサイズのことも、個人的には結構気になっていて、あまり大きいと子供の机のスペースの都合上、すごく使いにくいのではないかと以前から思っていましたので、これぐらいのサイズは、適切で、使いやすいと思いました。

○福田知弘委員

私も、啓林館がいいと思っています。

ダイナミックな写真が単元の導入のところで使

われており、あとは、児童の疑問について考え始めようというような工夫がなされていると思われました。

プログラミングはなかなか抽象的で理解できにくいところも、かみ砕いて説明できていることも特化しています。

以上です。

○谷池雅子委員

私も啓林館を推薦いたします。

WACBT も面白い取組ですし、一般的に子供が使いよく、楽しく理科を学べるような配慮がされていると思われました。

○和田光代委員

私も啓林館がよいと思われました。

先ほど御質問いたしましたように、机に置いたときに教科書が開きやすいという点と、問題解決のレイアウトも分かりやすく、実験手順の記載が丁寧に分かりやすいというところです。

あと、全学年に科学の視点で捉えた「防災・減災、自然からの恵み」を紹介されているのもよいと思われました。

○飴野仁子委員

私も啓林館がよいと思われました。

理由は、理論的な思考と、理科の理解的なものの考え方を見て、掲載内容から啓林館がいいかなと思われました。

ただ、啓林館以外の他社の教科書については、裏表紙や後ろのページのスペースまで、例えば理科の安全の手引や目次を示してあり、活用されています。そうすると1年間通して、こういったものの学ぶのだなということが見られます。

他にも、ジオパーク、SDGsを取り上げて、そういったスペースまで有効に使われておりました。

ky殺風景で、スペースの活用がありません。ですので、また次回のときにそういったところのスペースも活用されるといいのかなと思います。

今回は内容を重視し啓林館を推薦いたします。

以上です。

○西川俊孝教育長

5名、全員の方が啓林館ということでした。

よって、議案第49号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 理科 の採択について」につきましては、啓林館を採択することといたします

○西川俊孝教育長

それでは、日程第12、議案第50号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 生活 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○山本雄一郎学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1ー7、令和6年度使用教科用図書小学校用 生活」の選定具申の発行者順に御説明いたします。

まずは、東京書籍です。

上巻の113ページを御覧ください。

目標・内容の取扱いの観点では、「かつどうべんりてちょう」を手がかりにして、習慣や技能などを身につけられるように配慮されています。

下巻の33ページを御覧ください。

「デジタルいきものずかん」や「くらし図かん」などのQRコンテンツも充実しています。

上巻の21ページを御覧ください。

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、個性豊かな6人の登場人物を掲載し、多様な表現方法、資料を例示しています。

また、気づいたことを友達同士で伝え合う姿や、他者と関わる場面が、写真や挿絵などを用いて具体的に例示されています。

上巻12ページを御覧ください。

「つながる ひろがる」では、スタートカリキュラムから他教科の学びとの関連が分かりやすい教科のピクトグラムを用いて、具体的に例示されています。

上巻33ページを御覧ください。

右下になりますが、次の学習へつながる吹き

出しや、ヒントが児童の姿などで具体的に例示されています。大きな写真やイラスト、子供たちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるよう構成されています。

次は、大日本図書です。

上巻の2ページを御覧ください。

スタートカリキュラムについては「たのしいよ！ねんせい」と題して、小学校入学前と小学校での生活を比較したり、「みんな なかよし」では、仲間づくりの活動を意識したりする内容となっております。

活動を通して、学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする内容が取り上げられています。

上巻の41ページを御覧ください。

「かくしゅうどうぐばこ」として、ここでは「まなびかためいじん、かんさつめいじん」と題して、習慣や技能などを身につけられるように配慮されています。

他には「地図を作ろう」で写真や絵を貼り付けた地図の作り方や、「しらべ方 つたえ方」で具体的な調べ方や発表の仕方などが示されています。

次は学校図書です。

上巻12、13ページを御覧ください。

各単元、活動や体験の内容ごとにテーマを決め、ページ見開きで1つの活動にすることで単元の流れが分かりやすい構成になっています。

スタートカリキュラムについては、「はじまるよしょうがっこう」として、小学校生活についてイラストで例示するなど、スムーズに接続できるような工夫がされています。

上巻40ページを御覧ください。

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、子供の主体的な活動を支援する「ものしりノート」や「ものしり図かん」などの資料が充実しています。

上巻23ページを御覧ください。

上下巻を通じて4人のキャラクターの交流場面が示されており、個からグループへと対話が発展していく構成となっております。

各単元末に「もっと」のページがあり、単元が終わった後も学んだことを生活に生かすことができるようになっていきます。また、「話す」「聞く」「書く」などの要素を取り入れた活動になっており、巻末の「学び方図かん」でも、ポイントが分かりやすく示されています。

次に教育出版になります。

活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れが分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表、QRコードなどが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されています。

上巻の25ページを御覧ください。

単元ごとに「わくわくスイッチ」が掲載されており、スムーズな導入と意欲づけの工夫がされています。

また、「発見ロード」「ぐんぐんはしご」など、主体的な学びになるような工夫がなされています。

上巻の2ページを御覧ください。

左下になりますが、自分自身や身近な人、社会及び自然についての理解や、生活上必要な技能について、適切な内容が取り上げられており、例えば、特に重点を置く必要な「六つの力」が各小単元にさいころで掲載されており、分かりやすく示されています。

次に光村図書です。

ヨシタケシンスケさんのイラストで、一人一人の学びとなるよう描かれており、興味を引きつけます。

巻末の別冊の用紙を御覧ください。

「ひろがるせいかつじてん」では、「きろくをしよう」として、カードの書き方やタブレットやデジタルカメラの使い方が示されています。別冊「はるのなかまたち」を持ち運んで観察することもできます。

各単元には、活動の様子が記載され、指導者の工夫を生かせる内容となっています。

上巻の6ページを御覧ください。

スタートカリキュラムについては、「いちねんせいのはじまるよ」として、各教科を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されています。

す。

上巻46ページを御覧ください。

大きな写真やイラスト、子供たちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるよう構成されております。

最後に啓林館になります。

文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されております。表現方法も豊かで、児童の興味・関心を引くように工夫するなど配慮され、また意欲を引き出す工夫として、活動内容や活動の流れが分かりやすくなるよう、写真や地図、挿絵、図、表、QR コードなどが効果的に使用されております。

上巻65ページを御覧ください。

QR コード「まなびウェブ」や、各単元の「わくわくタイム」を活用することで、見つける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を主体的に行えるよう工夫されております。

上巻81ページを御覧ください。

児童一人一人の興味・関心に合わせて活用できるよう「びっくりずかん」が記載されております。

さらに、学習での気づきを友達同士で伝え合う場面などが、写真や挿絵で具体的な場面として示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されております。

上巻18ページを御覧ください。

ICT 機器を持ち運ぶことによって、QR コード「デジタルたんけんブック」を効果的に活用することができます。また、「タブレットをつかおう」には、ICT 使用における注意事項が記載されております。

巻頭のスタートカリキュラムでは、「すたあとぶっく」として、各教科などを意識した入学当初の活動が、イラストや写真で分かりやすく示されております。

下巻の4ページを御覧ください。

左端にタグのようになっておりますが、各単元の導入では「わくわく」。活動では「いきいき」。振

り返りとしては「ぐんぐん」の3段階で構成されており、単元を通して活動が連続しながら発展、進化するよう工夫されています。

説明は以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御意見、御質問ありましたらお願いします。

○谷池雅子委員

生活科といえば、児童の生活に密接した教科だと思っておりますが、児童の意欲を喚起するような工夫が各社の教科書にどういうふうに行われているのかということをお聞かせください。

○山本雄一郎学校教育室主幹・指導主事

まず、啓林館のほうでは、各単元の初めに、「わくわくタイム」が設けられています。身近な生活を見直したり、振り返ったりできるような構成になっています。

それから「わくわくタイム」や、「学びウェブ」からつながる活動を「いきいき」として、多様な学習活動を主体的に行えるよう工夫されております。

上巻の34ページを御覧ください。

一人一人の興味関心に合わせて活用できる「びっくりずかん」ですとか、「デジタル単元ブック」などの意欲が継続しやすいように工夫されております。

また、上部、上のほうに春、夏、秋などのように、季節が示されていて、児童の生活で感じる季節を比べやすく、工夫がなされております。

次に学校図書の上の14ページを御覧ください。

見開き1つの活動を記載していて、活動の流れが分かりやすく、見通しが持ちやすい構成となっています。

4人のメインキャラクターが、会話のつづやきがあり、ストーリー性を持たせていることで、共感しながら学習を進め、意欲を継続しやすい工夫がなされています。

3つ目に、東京書籍の下、14、15ページを御覧ください。

振り返り、表現活動などが充実していき、児童のキャラクターの姿や、多様な表現方法で児童や教師が具体的な活動をイメージしやすい構成になっています。

また、気づいたことを友達同士で伝え合う姿とか、多様な他社と関わる学習活動の例が載っております。写真や挿絵などの例示もあって、協同的な学びにつながる工夫がなされています。

以上でございます。

○飴野仁子委員

活動の際に、参考にできるような資料の充実度について、比較して教えてください。

○山本雄一郎学校教育室主幹・指導主事

各発行者ともに、生き物図鑑ですとか、野菜図鑑などを設けていて、巻末には学び方などをまとめて掲載もされております。

啓林館ですが、様々な資料のバランスが大変よくつくられております。巻末の上の118ページです。巻末の「がくしゅうずかん」を御覧ください。

啓林館の巻末、「がくしゅうずかん」を御覧ください。

児童の学びを深める、それから記録の仕方ですとか、まとめ方、発表の仕方などが詳しく掲載されております。

それから、低学年の児童が楽しく学べるようなQRコンテンツも豊富に用意されていて、まなびウェブ、デジタルたんけんブックなどの動画が大変多く入っております。

例えば虫の声ですとか、生き物、野菜などの情報が充実しています。

それから、学校図書ですが、巻末の「学び方図鑑」を御覧ください。

記録の仕方や、活動の工夫などの資料が充実しております。また、「ものしりノート」や「ものしり図鑑」などの資料が充実しております。

3つ目に、東京書籍になりますが、上巻の121ページを御覧ください。

「デジタルいきものずかん」や「くらし図かん」などのQRコンテンツが充実しています。「かつどうべんりてちょう」では、観察の仕方や、タブレットを使用した学習方法などの情報が掲載されております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

御意見ないようですので、それでは各委員さんのほうから、意見表明を受けたいと思います。どの発行者ということで、お願いいたします。

○福田知弘委員

私は、啓林館がいいと思いました。

スタートブックというのがある、幼稚園からのつながりを意識されていて、学習に対する意欲を喚起するような交流の写真やテキストなど、しっかりとつながりを意識されているということが良いと感じました。

○谷池雅子委員

私も、啓林館がいいのではないかと思います。

幼稚園というか保育園からのつながりとして、非常に親しみやすく、QRコンテンツとか、そういうのもしっかりと充実していて、使いやすいのではないかと思います。

以上です。

○和田光代委員

私は、啓林館がいいと思います。

理由としましては、先ほども御説明ありましたように、単元が3段階で構成され、連続しながら発展、進化をするように工夫されております。また、幼児期からの小学校のつながりを感じ、安心して工夫や、3年からの他教科の学習につながる配慮もされているということで、いいと思いました。

○安達友基子教育長職務代理者

私も啓林館がいいと思いました。

生活科は、この後3年生から理科とか社会と

かですね、そういうところにつながっていくもので、なので生活科が楽しいと思ってくれることって、とても大切だと思うのですけれど。啓林館、そのわくわくタイムっていうのが設けられており、幼稚園、保育園からのスタートカリキュラムもとてもよくて、取り組みやすいのではないかと感じました。

○飴野仁子委員

私も啓林館を推薦したいと思います。
学びの流れからの判断です。
以上です。

○西川俊孝教育長

5名の委員の方が全員啓林館ということでした。

したがって、議案第50号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 生活 の採択について」につきましては、啓林館を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

それでは次です。日程第13、議案第51号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 音楽 の採択について」審議及び採択を行います。
それでは、事務局の説明を求めます。

○三宅和樹教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1-8、「令和6年度使用教科用図書小学校用 音楽」について、選定具申の発行者順に御説明させていただきます。

両社とも、6年生の教科書を中心にして、御説明させていただきます。

まず、教育出版について御説明させていただきます。

「音楽のおくりもの」4ページ、5ページを御覧ください。

学習マップとして、1年間の学習の内容が分かるように示されております。また、学習の進め方の部分では、児童が主体的に学習を進められるよう、活動の目標等が示されております。

次に、13ページを御覧ください。

左方に、コンパスのようなマークで示された「学び合う音楽」のコーナーがございます。このようなマークが随所にあり、協働的な学びや、見通しを持った学習をサポートしてくれる工夫がされております。

また、教育出版では、挿絵や実際の写真を多く取り上げています。大きく掲載されており、曲の情景が分かりやすく工夫されております。

さらに、巻末には「音楽のもと」まとめのページがあります。81ページを御覧ください。

6年生で学習した内容が、このページに分かりやすくまとめられているので、予習復習、宿題としても活用することができます。

続きまして、教育芸術社の御説明をさせていただきます。

「小学生の音楽6」の10ページ、11ページを御覧ください。

10ページの一番上に「ねらい」が書かれており、11ページの上には、児童の活動に関わる手だてが記載されておられます。

また、11ページの下には「歌声ルーム」として、児童に体験してほしい内容も記載されております。

このように見開き1ページの中に「ねらい、手だて、ポイント」が記載されており、児童の主体的な学びを促すとともに、音楽の指導に対して苦手意識を持っている先生でも、このページを手がかりに、児童が主体的に活動する授業を組み立てることができます。

また、各単元の目標が、トップページ左に大きく記載されており、授業で学ぶポイントが分かりやすくなっていることで、児童が見通しを持って、学習に取り組めるようになっています。

そして、様々なページにナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場しています。彼らの吹き出しがヒントとなり、「この学習では、何に気づいて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、児童の「やってみたい」という意欲が高まる工夫もされておられます。

また、学習の手だての示し方や教材配列にも工夫があります。40ページから42ページを御覧

ください。

これまで学んできたことを踏まえながら、友達や家族、地域の人との対話を通して学びを広げたり、深めたりすることができるように配慮されており、主体的で対話的な学びにもつながります。

最後に82ページから85ページを御覧ください。

「振り返りのページ」や資料もごさいます。6年生での学習内容が整理され、基礎基本を適宜振り返りながら学習ができるよう工夫されておられます。

説明は以上でございませう。

○西川俊孝教育長

それでは、御意見、御質問ありましたら、お願いいたします。

○和田光代委員

リコーダーを始めるに当たって、児童が興味を示すような工夫がされているか教えてほしいです。

○三宅和樹教育センター主幹・指導主事

小学校では、3年生からリコーダーを学習いたします。両社とも、3年生の教科書を御用意ください。

教育出版「音楽のおくりもの」3、18ページから19ページを御覧ください。

ソプラノリコーダーだけではなくて、アルト、テノール、バスといったリコーダーの種類を示し、大きさによって音の高さが違うことにも気づくよう、児童の興味を示す工夫がされております。

続きまして、教育芸術社は「小学生の音楽」3の20ページ、21ページを御覧ください。

ヘッドピースと息を使って音遊びをする活動があり、児童が興味を示すような工夫がされております。

また、2ページ、3ページも御覧ください。

リコーダー奏者と尺八演奏家の対談の様子を掲載し、児童の興味を引き出すような工夫もとられております。

以上です。

○福田知弘委員

国歌、君が代については、どのように取り扱われていらっしゃるにせうか。

○三宅和樹教育センター主幹・指導主事

学習指導要領では、国歌、君が代は、いずれの学年においても、歌えるよう指導することと定めており、どちらの発行者とも適切に取り扱っております。

教育出版は「音楽のおくりもの6」、76ページを御覧ください。

歌詞の大意や、さざれ石の写真とともに掲載されております。

教育芸術社は、すぐ開くことができる最終ページに歌詞の大意やさざれ石の写真とともに掲載されております。

「小学生の音楽6」の86ページを御覧ください。

国際理解教育の観点からも、自国のみならず、他国の国歌の尊重する態度を養えるように、発達段階に応じて国歌を歌ったり、聞いたりするときの一般的なマナーについても触れられております。

以上です。

○西川俊孝教育長

それでは、別の御意見がないようですので、それぞれの各委員発行者を挙げていただこうと思います。

○和田光代委員

私は、教育芸術社がよいと思ひました。

理由としては、全体にまとまりがよく、題材ごとに見やすいように色が変えられており、写真や挿絵なども工夫されています。また、学習進めていく手順が分かりやすく、表情やしぐさを変えながらキャラクターの吹き出しの活動のヒントは、正しく子供たちの興味・関心を持ち、取り組めるように思ひました。

○福田知弘委員

私も教育芸術社がよいと考えております。

各学年の教科書の一番初めに学習欄といますかね、非常に分かりやすくそれもつくられているということ、それから色の扱いとかも興味を持って情報整理されているということがよいと思っております。

以上です。

○安達友基子教育長職務代理者

私も教育芸術社がいいと思いました。

理由としては、ほかの委員さんと同じようなことなのですが、教育芸術社のほうでは、所々にキャラクターが出てきて、そのキャラクターの吹き出しの中身が学習を進めるのに役に立ちそうなもので、上手につくられているなどと思いました。また、日本の伝統音楽や和楽器のことについても、もちろん両社きちんと触れられてはいたのですが、より丁寧に書かれているかなと感じました。

○飴野仁子委員

私は、教育出版を推薦いたします。

理由は、「音楽のおくりもの」というタイトルにもあるように、音楽は学校で学ぶ科目ではあるのですが、自然な音楽へのいざないの方が上手にされているのではないかなということと、取り扱われている曲やテーマ、取り上げられている人物から、こちらの教科書、出版社を推薦したいと思えます。

以上です。

○谷池雅子委員

ニュートラルで、どっちもいいなと思うのですが、教育芸術社が圧倒的なシェア数を誇りますので、間違いないのかなという気が全体的にいたします。

○西川俊孝教育長

今、お聞きをしましたら、4名の方が教育芸術社、1名が、1人が教育出版社ということで、教育

芸術社ということになります。

ということで、議案第51号、「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 音楽 の採択について」につきましては、教育芸術社を採択することにいたします。

○西川俊孝教育長

次に、日程第14、議案第52号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 図画工作 の採択について」審議及び採択を行います。

それでは、事務局の説明を求めます。

○大津博典教育センター主幹・指導主事

それでは、「別表1-9、令和6年度使用教科用図書小学校用 図画工作」の選定具申の発行者順に御説明させていただきます。

初めに、開隆堂出版の特徴を、各学年の教科書を用いて御説明いたします。

3、4年生上の24ページを御覧ください。

ページ中段、「感じたままに、好きな色で表してみよう」というように「ころろさんマーク」の助言から、感性を育て、自由に表現することの大切さを促す工夫がされています。

同じく42ページを御覧ください。

ページ下部に「!あんぜん」として、用具を使用する際の注意点が適切に取り上げられています。

同じく26、27ページを御覧ください。

「小さな美術館」では、“ひまわり”という1つのテーマで様々な絵画や立体作品を取り上げており、同じテーマでも表現の仕方が異なることや、それぞれの表現のよさを感じ取れるような工夫がされています。

1、2年生上の24、25ページを御覧ください。

思考している場面の写真が掲載されており、多様な表現を見ることで、自己の表現につながるヒントを得ることができます。さらに、吹き出しもあることから児童が表現のイメージを持ちやすい工夫がされています。

次に、日本文教出版の特徴を、各学年の教科書を用いて御説明いたします。

3、4年生上の49ページを御覧ください。

ページ下部に掲載されている写真のように、対話している吹き出しを入れることで、他者との関わり合いを例示し、対話的な学びの場面を多く取り上げています。他者と関わる活動を通して、感性を育て、多様な見方・考え方を得ることができるよう工夫されています。

同じく、40、41ページを御覧ください。

児童の個性に合わせ、多様な表現ができるよう、多くの作品が掲載されております。また、実際に制作している写真を用いて、制作過程を示すことで、児童にとって手順も分かりやすくなり、アイデアも膨らみやすくなるよう工夫されております。

5、6年生下の22、23ページを御覧ください。

ページ下部の「!気を付けよう」というように、安全に取り組む上での注意事項が、適切に取り上げられております。また、22ページ下部、「思い出そう」の項目もあり、当該学年より前で習った用具の使い方も復習することができます。

5、6年生上の13ページを御覧ください。

児童が考えを伝え合ったり、相談したりしながら、造形活動を行う様子が例示されており、試行錯誤を繰り返しながら表現や鑑賞をし、学ぶことができるよう工夫されています。

説明は以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、質問、御意見ありましたらお願いいたします。

○福田知弘委員

「育てたい資質・能力」や「学習のめあて」については、どのように記述されていますか。

○大津博典教育センター主幹・指導主事

開隆堂では、「育てたい資質・能力」に関して、児童が注目しやすいようにキャラクターを使って提示しています。それらが、各題材において、「学習のめあて」として提示されており、特に大切にしてほしい「資質・能力」に関しては、色を変えるという工夫がされております。

日本文教出版では「育てたい資質・能力」を

マークで表現しています。また、特に大切な「めあて」との関連を各題材において、表現のヒントとして示し、児童が発想を広げることにつながるよう、工夫されています。

また、鑑賞のヒントとして、どこに注目したらいいのかを示すことで、児童同士の対話を生み出し、学びを深めることができるようになっております。そのような工夫から、表現と鑑賞を一体的に学ぶことができるようになっております。

以上でございます。

○飴野仁子委員

著名な作家の作品に触れることができる機会は、どのぐらい準備されていますか。

○大津博典教育センター主幹・指導主事

2社とも、2次元コードから様々なジャンルの作家からのメッセージを視聴することができます。

開隆堂出版では「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」で海外の作家や、伝統文化に触れることで、多様な表現のヒントを得ることができるよう工夫されています。

日本文教出版では、各ページでの作品や、アートカードなどで海外の著名な絵画や立体作品に触れ、多様な見方・考え方を得ることで、それらを自己の表現につながるができるよう工夫されております。

以上でございます。

○谷池雅子委員

ICTの活用はどのようにされていますか。

○大津博典教育センター主幹・指導主事

2社ともに、2次元コードを活用して、写真や動画を確認できるようになっております。作品を360度回転して見ることができる工夫もされております。

開隆堂では、5、6年生上、63ページを御覧ください。

タブレット端末を使おうというページで、利用の方法を紹介しており、同49ページを御覧ください。

ださい。

こちらの49ページにありますように、自らがつくった作品をアニメーションにしたりする活動も掲載されております。

日本文教出版では、5、6年生上の12、13ページを御覧ください。

こちらのページにございますように、アプリで自らの作品をこま送りにする活動や、様々な場所に自らの作品を置いて撮影する活動が紹介されており、その際、試行錯誤している様子や、協同的に学んでいる写真を載せることで、探求的思考力を育むことにもつなげています。

また、次の14ページ、御覧ください。

14ページ上部にタブレットのマークがございませう。そのマークでタブレット端末を活用するポイントを明示する工夫もされております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、他に質問がないようですので、皆さんから御意見を頂きます。どなたからでも結構です。

○福田知弘委員

私は、日本文教出版がいいと思いました。

様々な分野の芸術作品、絵画とか彫刻だけではなくて、建築や光、ICTも該含め、いろんなことが取り上げられていて、さらには、最終作品だけではなくて製作の過程も、詳しく入っている。

追加で申し上げますと、5、6年の上ですね、見開きのところに新宮先生の作品があって、これが実は別のものですけど、メイシアターのほうにもありますので、要は、教科書から飛び出して何か鑑賞会するときに見物を見ていただくような流れにできたらなと思います。

以上です。

○和田光代委員

私も日本文教出版がいいと思いました。

製作している子供の姿や作品について、魅力的な写真が多く、子供たちの意欲を引き出すよう

な紙面になっていること、表現、鑑賞の活動を取り組みやすく工夫されていることがいいと思いました。また、「美術館へ行こう」という紙面があるのですが、そのQRコードで、動画で美術館の紹介や技術者への紹介もされています。それもいいと思いました。

○安達友基子教育長職務代理者

私も日本文教出版がいいと思いました。

鑑賞作品なども、どちらももちろん載っているのですが、より充実しているように見受けました。更に、こどもたちが作品をつくるに当たって、イメージが持ちやすいように製作過程などが載っていて、より使いやすいように感じました。

○谷池雅子委員

私も皆様と同じような理由から、日本文教出版がいいと思いました。

やっぱり絵が魅力的というのが一番の私の理由でございます。

○飴野仁子委員

2社比較しまして、私も日本文教出版が充実しており良いと思いました。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、ただいま5名の委員さん全て日本文教出版ということでした。

よって、議案第52号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 図画工作 の採択について」につきましては、日本文教出版を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

それでは、日程第15、議案第53号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 家庭 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○大西耕平学校教育室主幹・指導主事

「令和6年度使用教科用図書小学校用 家庭」の選定具申について、発行者順に御説明いたします。

まず、東京書籍についてです。

教科書12ページを御覧ください。

各単元の最初に、「生活の窓」で家庭生活をよりよくするための視点がまとめられています。また、「学習の流れ」も示されることで、見通しを持った学習が可能となるよう工夫されています。

次に、巻頭ページの見開きには、小学校から中学校への内容が、流れとして記載されています。

さらに、6ページ、7ページの成長の記録は、各単元で実施した内容を書き込むことで、学習内容が一覧で分かるようになっており、5、6年でのような学習内容に取り組むのが、分かりやすく示されています。

135ページを御覧ください。

こちらには、同様のページが振り返りに活用できるよう用意されています。

実習における安全確認がいつもできるように、10ページには「いつも確かめよう」として特集が組まれており、毎回確認ができるように、安全に対する注意を促しており、巻末136ページ、137ページの「いつも確かめよう」においては、調理実習や製作実習での基礎となることをまとめており、作業の流れを写真やイラストで示し、技能の確認がしやすいようにまとめられています。

また、その中でも137ページの右端にある「手をのせてまねしてみよう」では、右利きと左利きの原寸大の写真を記載することで、より確かめやすい工夫がなされています。

88ページ、89ページを御覧ください。

実習の作業工程を順に示していることだけでなく、原寸大の食材を記載することで、実際に確認しながら切り方の練習ができる工夫がされています。また、動画コンテンツも用意されているので視覚的な理解ができるようになっております。

続きまして、開隆堂出版を説明をさせていただきます。

8ページを御覧ください。

各単元の最初に、「四葉のクローバー」において、家庭生活をよりよくするための視点がまとめられており、「学習のめあて」も示されることで見通しを持った学習が可能となるよう工夫されています。

巻頭ページの見開きを御覧ください。

他教科との関連する項目の記載があり、教科横断的な学習ができるよう工夫されています。

15ページの上段を御覧ください。

注意すべき点を各内容において、「安全」マークで示しております。また、142ページ、143ページの巻末特集ページでは、実習の安全についてまとめて記載しております。

90ページ、91ページを御覧ください。

作業工程の見開きページで、帯のように示して見やすい工夫をしております。巻末ページに移っていただきますと、巻末ページには「実習に役立つワンポイント」があり、調理や製作の大きい写真を取り入れることで、食材の実際の大きさ等も記載しております。

次に、60ページ、61ページを御覧ください。

「生活を支える者やお金」の単元では、消費者教育について、フローチャートで示しながら、具体例を挙げながら、学習できるとともに、64ページでは、将来における実生活において必要であろう、買い物でのトラブルケースを具体的に挙げることで、実生活においての問題解決ができるような工夫がされています。

説明は以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御意見、御質問ありましたらお願いいたします。

○安達友基子教育長職務代理者

どちらの教科書でも、調理実習などがあると思うのですが、それにも関連して、安全の確保や事故の防止について、どのような工夫がされているか教えてください。

○大西耕平学校教育室主幹・指導主事

各单元において、安全に配慮が必要な内容については、両社とも安全マーク等で示されています。作業時等での注意を払うように工夫はされています。

東京書籍におきましては、巻頭の「いつも確かめよう」の特集ページで取り上げており、何度も確認できることができるようになっております。

10ページ御覧ください。

10ページには、アレルギー症状の具体例も示しており、9ページに戻りますが、9ページには、地震が起こったときなどの対応として、安全防災教育としての学習ができるようになっております。

開隆堂においては、17ページを御覧ください。

17ページでアレルギーについての説明があり、144ページ、145ページには、家庭や地域の安全・防災ということで、地域における非常時についても内容取り上げて、安全・防災教育についての工夫がされています。

以上でございます。

○福田知弘委員

コロナ禍を経まして、変化した内容がございますか。

○大西耕平学校教育室主幹・指導主事

両社とも、安全衛生について、実習前の注意が示されているようになっております。

東京書籍においては、8ページに記載されており、開隆堂については、12ページに実習前の注意事項等も書かれています。

また、調理実習の内容については、1人分、1人前で示されるようになっており、1人でも作業ができるように示されています。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

他に御意見がなければ、それぞれの各委員の意見をお伺いすることにいたします。

○福田知弘委員

私は、東京書籍がいいと思いました。

図や写真が多くて、使いやすいそうであることや、マークや表示がより詳しく書いていることから、東京書籍をお勧めいたします。

○和田光代委員

私も、東京書籍がよいと思いました。

理由としましては、身につけた知識や技能を生活に活用できる配慮がされていますし、調理実習では、技能だけでなく考える調理実習として取り組まれているのもよいと思いました。

○安達友基子教育長職務代理者

私も、東京書籍がいいと思いました。

どちらも、手順などとても見やすく書いていただいて、どちらが採用されてもいいかなとも思ったほどですが、その中でも、東京書籍で包丁使うときの手の写真が掲載されている点等から、より具体性あって、子供が調理実習するとき安全にできるかなと感じました。また、アレルギーに関する記載なども、少しの差ですけれども、東京書籍さんのほうが重点的に取り上げられておられると思いましたので、そちらを推薦いたします。

○谷池雅子委員

私も、東京書籍さんがいいと思います。

細かいコンテンツで、1日の流れ、例えば、買い物をして契約が成り立つときなど、具体的で実際的な指導内容が書かれているかなと思います。東京書籍を推薦いたします。

○飴野仁子委員

私も、この東京書籍を推薦いたします。

1人で家にいる子供たちが1人分で調理ができるような工夫が見られ、そういった家庭も増えているかもしれない現状に寄り添っている点など、全体的なところで東京書籍を推薦いたします。

もう1社は、売買契約が成立すること、ひとりで買い物に行くことなど取り上げており、いいなと思うところもあったのですが、例えば、実際に調理をする時はこういうことに気をつけてねという

ころの字がもう少し見やすく、もう少しフォントのサイズが大きくていいのかなど感じる場所もあり、全体的な意味で、東京書籍の方を推薦いたします。

以上です。

○西川俊孝教育長

ただいまお聞きしましたら、5名の方が東京書籍ということであります。

よって、議案第53号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 家庭 の採択について」につきましては、東京書籍を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

次です。日程第16、議案第54号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 保健 の採択について」審議及び採択を行います。

それでは、事務局の説明を求めます。

○盛園直人保健給食室主幹・指導主事

それでは、「別表1-11、令和6年度使用教科用図書小学校用 保健」の選定具申の発行者順に御説明いたします。

初めに、東京書籍についてです。

5、6年生用、3ページを御覧ください。

全ての単元において、ステップ1「気づく・見つける」、2「調べる・解決する」、3「深める・伝える」、4「まとめる・生かす」という学習過程を通して、児童が自ら資料を活用して課題について考え、友達と協働的に学びながら解決に向かうことができるよう工夫されています。

続いて4ページ下部を御覧ください。

各章の冒頭には、関係するSDGsの主な目標や、他教科とのつながりが掲載されており、視野を広く持って学習に取り組めるようになっております。

ページを戻して、表紙の裏を御覧ください。

全体を通した登場人物について、多様に配慮されております。

また、18ページ、19ページを御覧ください。

そちらでは、パラリンピック代表選手のエピソードについて、QRコードによる補足資料と併せて、丁寧に取り上げています。なお、18ページ上部には、不安や悩みがある時の相談窓口一覧が掲載されています。

続いて、43ページを御覧ください。

AEDの使用について「ASUKAモデル」に関する内容が、母親のメッセージとともに掲載されており、児童が自分事として学習に取り組めるように工夫されています。

全体を通して、豊富な資料の中で発展的な内容も取り扱い、児童が自らの興味・関心に合わせて、学習に取り組むことができるようになっています。

次に、大日本図書についてです。

5、6年生用、14、15ページを御覧ください。

1時間の授業が見開き1ページに収まるように構成されています。また、巻頭にある折り込みカードを使用し、これから学ぶことを隠すことで、児童の思考力を働かせるような工夫がされています。

ページを戻っていただき、15ページを御覧ください。

各ページ最後にある「活かそう」や、続く16ページから19ページにありますような章末の資料ページ「もっと知りたい」、「学年のまとめ」において、学習したことを生活の中でどのように実践していくかを考える学習活動が多く設定されています。

全体を通して、動画資料が豊富に用意されており、具体的な体験を伴う学習について、実際に映像を見ながら進めることができるよう工夫されています。

次に、大修館書店についてです。

5、6年生用、1ページを御覧ください。

巻頭の「生活の中の保健をさがそう!」では、写真資料を多く用い、学習内容と生活を結びつける工夫がされています。

次に18ページ、19ページを御覧ください。

イラスト等を効果的に活用し、文章量を最小限にとどめるよう工夫がされており、見開き1ペ

ージで授業が完結する構成のため、授業の流れが一目で分かります。

続いて、19ページから21ページを御覧ください。

悩んだり、ストレスを感じたりしているときの対処方法や相談窓口、相談するときの話し方や相談されたときの受け止め方など、心の健康についてイラストを用いながら丁寧に示されています。

続いて、文教社についてです。

5、6年生用19ページを御覧ください。

各章末の「わたしの〇〇せん言」では、今後、児童自らがどう実践していきたいかについて考え、記述する内容になっております。

18ページ下部を御覧ください。

自分の生まれた性別と心の性別の不一致など、具体的で共感的なエピソードを扱うことで、子供たちの不安や悩みに寄り添うよう配慮されています。同じページ、上部にあります「Episode」というコラムでは、学習に関連する内容を補充し、「もっと考えよう課」では、発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されています。

次に、光文書院についてです。

3、4年生用、表紙の裏を御覧ください。

作家や、スポーツ選手のインタビュー記事が掲載されており、児童に興味関心を持たせるとともに、健康が夢をかなえる原動力となることを実感できるようになっています。

4ページ、5ページを御覧ください。

各単元において、自分の生活を振り返る活動、課題解決に向けての活動、学習したことを自分の生活に生かそうと考える活動が設定されています。また、14ページのように「広げよう・深めよう」と題した発展的な内容を含む資料ページを配しており、広い視点を持つことができる構成に工夫されています。

次に28ページを御覧ください。

子供と大人の体の違いについて、男女の写真を掲載していますが、正面と横向きがあり、特徴が捉えやすくなっています。また、服装などについて

て細かな配慮が見られます。

続いて、33ページを御覧ください。

自分の発育や性自認についての心配や悩み事があった時の相談先を掲載するなど、全ての児童が安心して学習に取り組めるよう配慮されています。

最後に、学研についてです。

3、4年生用、5ページを御覧ください。

1「ふり返る」、2「話し合う」、3「学びを生かす」といった1時間の学習過程を経て、課題解決に向けた話し合い活動や、学習したことを自分の生活にどう生かすかを考えられる構成になっています。

続いて6ページを御覧ください。

様々なマークを用い、他学年・他教科の学習内容とのつながりや、発展的な内容、補足情報などを分かりやすく示しています。

7ページ下部「つなぐ」では、単元に関連のある学習や仕事の情報にアクセスできるQRコードを示し、学習展開の支援としています。

続いて、26ページを御覧ください。

各章末では、チェック形式により学習の理解度を自己評価できるようになっています。

全体を通して、写真や資料の大きさや配置に工夫が見られ、児童の興味・関心を引き出すような構成に工夫されています。

私からの説明は以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御意見、御質問ありましたらお願いいたします。

○和田光代委員

現代社会が抱える保健に関する課題については、どのように取り扱われているのでしょうか。教えてください。

○盛園直人保健給食室主幹・指導主事

特徴的なものとして、薬物乱用の心身への影響についての内容が挙げられます。各発行者とも、学習指導要領の記載に基づき、シンナー等の

有機溶剤を中心に取り扱い、覚醒剤については、乱用される薬物には、様々なものがあることに触れる例として示していますが、東京書籍と大修館書店については、それに加え、近年、低年齢化が問題となっている大麻についても、写真や別名を示しています。

東京書籍については、5、6年生用70ページ、大修館書店については、5、6年生用66ページになります。

また東京書籍は、大麻については太字で示すことをしています。

続いて、光文書院については、5、6年生用58ページを御覧ください。

薬物の例として、合成麻薬 MDMA を示し、ページ下部の「豆知識」では、オーバードーズに関する説明をしています。

以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

人権についての取扱いや配慮について、どのようになっているか御説明いただけますか。

○盛園直人保健給食室主幹・指導主事

各発行者、人権への配慮は十分になされておりますが、東京書籍や、光文書院、学研は、表紙や挿絵に登場する人物について、多様性に配慮されています。

中でも、東京書籍に関しましては、先ほど申し上げたように、プロ車椅子テニスプレイヤーのメッセージを記載したり、巻末で、支え合いのためのマークや盲導犬についての内容を取り扱ったりするなど、障害者理解や、共に生きる社会を意識できるようになっています。

また、各発行者、思春期を迎える子供たちの心の安全に関して、資料を用い、気持ちに寄り添うことをしておりますけども、特に光文書院や学研につきましては、様々な不安や悩みへの対処方法や人との接し方などについて、丁寧に取り扱っております。

以上でございます。

○谷池雅子委員

回答を求めるものではないのですが、保健の教科書全部を見て、学習指導要領にしばられているのだと思うのですが、何かこう踏み込みが浅く感じます。

例えば、不安な場合とはといったところで、不安というのは子供の場合、大人の不安と出方が違うので、こういうときは不安な気持ちなのかもしれないといったことを取り上げて欲しいですね。更に、大麻についても同様に取り上げていただきたいのです。大麻に関しては、一定の識者からは大麻はいいという意見がありますから、そうではなく、やはり、大麻は、より有毒な薬剤への入り口なのだといった書き方をしたい。

また、LGBTQに関する記載は増えてきました。しかし、いつも思うのですが、性、ジェンダーとセックスいうのをどういうふうにきちんと説明するのかというのは難しいでしょうが、性行為のところがと抜けている。これは、伝えていくべきです。望まぬ妊娠でできた子供が、悲惨なことになったケースなど、教科書の出版社の方がおられたら、その辺はぜひぜひ検討をいただきたいと思います。小学校で教えるのはまだ早いということはありませんので、やはりきちんと避妊する必要性など、そういうことを、入れていかないといけないのではないかと思います。

要するに、そういう意味ではどの教科書も少し不満が残ります。ただ、結局、子供が自分で問題を見つけて、取り組んでいくという観点からどれがいいのだろうかと考えました。

○西川俊孝教育長

御意見ということでもいいですか。

○谷池雅子委員

はい。意見です。

○西川俊孝教育長

では、それぞれの委員さんの御意見を頂こうと思います。

○和田光代委員

私は、東京書籍がいいと思いました。

理由としては、写真や文章のまとまりもよく、見通しを持って学習が進められるのがよいと思う点と、身の回りの危険のところですが、自転車利用や、自動車の特性、インターネットの犯罪被害というのは、絵と説明文があったのですが、より分かりやすく動画を使って、動画やアニメーションを使って見せるようになっていきます。

子供たちが、より危険であるということが理解できるような動画になっているので、いいのではないかなというふうに思います。

それと、イメージしにくいものですね、例えば飛沫の飛び方なんかでも、動画で説明見せることもできるようになっていますので、実感できていいのではないかなというふうに思いました。

○福田知弘委員

私も東京書籍がいいと思いました。

巻頭と保健の学習で、こんな力をつけようというのが、提示されているということとか、各単元で「学びのめあて」というのが分かりやすく書かれている点の評価しました。それからほかの教科とのつながりや、先ほどもございましたが、QRコードからの講座のつながり、そういうところを見たと、こちらを推薦したいと考えております。

以上です。

○安達友基子教育長職務代理者

私も、東京書籍がいいと思います。

和田委員、福田委員がおっしゃったこととほぼ同じ意見なのですが、加えて私としては、18ページ、5、6年生の18ページに、不安や悩みがあるときの相談窓口というのを、とても分かりやすく一覧にいただいているのが特にいいなというふうに感じました。

ただ、東京書籍がいいと思うのですけれど、個人的には、ここのページにこの国枝さんのこのコラムがあることについては、疑問に思っています。お友達に支えてもらったという話なのですが、相談窓口探しているときの心理状態って、恐らく

すごく孤独な状態のときなので、その時に読むコラムとして適切なのだろうかというのは、少しだけ疑問があったので、一言だけ添えておきます。

以上です。

○飴野仁子委員

推薦は東京書籍をいたしますが、先ほど委員の意見からもありましたように、保健という科目に対してすっぱり抜けている部分もあると、私も思います。

更に、全体的には、生活習慣病の予防について、どのテキストでも触れられておりますが、病気も単に風邪だけではなく、もうちょっと広く、これから先、学校を出てからの人生の方が長く、生きていく中で知っておいてほしい内容が抜けている部分もあるということ意見を申し添えます。

以上です。

○谷池雅子委員

ただし、先ほど申しましたように、子供が自分でこの問題を見つけて解決していくという、そういう作りでは、皆さんと同様で、東京書籍がいいのではないかなと思います。

あとは、先生が、教科書に載っていないことについて、付加的な指導をしていただいたらと希望します。

○西川俊孝教育長

5名の委員さん、東京書籍ということでなりました。

よって、議案第54号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 保健 の採択について」につきましては、東京書籍を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

日程第16、議案第55号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用特別の教科 道徳 の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

それでは、「別表1-12、令和6年度使用教科用図書小学校用 道徳」の選定具申について、発行者順に御説明申し上げます。

各社とも、随所に工夫があり、それぞれに力を入れた点が見てとれました。それでは、各社の報告をいたします。

まずは、東京書籍です。

東京書籍の特徴として、道徳的判断力や道徳的心情を育てることを意図した教材が、バランスよく配置されています。

例えば、2年生の教科書130ページを御覧ください。

長い間、多くの方に親しまれてきた教材「ぐみの木と小とり」を新たに選び出し、掲載しています。

また、漢字は、読解に時間をかけずに「考え、議論する道徳」が実現できるよう、未習の可能性のある当該学年の配当漢字は使用せず、原則として当該学年の1つ下の学年までの配当漢字が使用されております。

2年生の教科書、目次を御覧ください。

教材については、全学年と各学年段階の「重点指導内容項目」が「あんしん・あんぜん」、「いじめについて」、「情報モラル」、「いのちについて」、「自分について」の5つのユニットとして設定されており、複数の教材が掲載されております。

次に、教育出版です。

3年生の教科書、目次を御覧ください。

教育出版の特徴として、「いじめ」や「情報モラル」については、全学年で重点テーマとして位置づけ、ユニット化して手厚く指導できるようにされております。

また、教材の挿絵などは、服装や持ち物、色などに関して、性差の偏りがないように配慮されており、現代的な課題でもある LGBTQ について考えるきっかけとなる教材が設けられております。

例えば、3年生の教科書124ページを御覧ください。

LGBTQ について考えるきっかけとなる教材の

例として、「タンタンタンゴはパパふたり」があります。他者への理解を促し、他者を尊重する心が養えるようにしています。

低学年では、言葉のまとまりが分かりやすく、読み誤りが生じにくいよう、分かち書きと文節改行で表されております。

次に、光村図書出版です。

光村図書出版の特徴として、昔話を教材化した読み物、等身大の児童が登場する読み物、伝記等で知られる先人の生き方や、現在活躍する人物の子供の頃の葛藤を扱った読み物など、児童の心を捉える多様な教材がバランスよく配されております。

また、5年の教科書47ページを御覧ください。

他の教科書と同様に、カラーユニバーサルデザインへの配慮として、色覚特性を持つ児童が学習に支障を来すことがないように、配慮がなされております。色文字を使用していても、振り仮名は黒とし、見やすさを優先させています。

さらに、1年生の教科書94ページを御覧ください。

第1、2学年では、児童の読みのつまずきを軽減できるよう、分かち書きをし、単語や文節の途中で改行しないよう配慮されております。

次に、日本文教出版です。

日本文教出版の特徴として、各巻とも、魅力ある教材がふんだんに取り上げられています。

4年生の教科書90ページを御覧ください。

「遠足の朝」のように、児童の興味・関心を引きつけるだけでなく、人間であれば誰もが持っている弱さと、それを乗り越えようとする強さや気高さについて考えることができる教材が取り上げられている点が特徴の1つです。

また、4年生の教科書68ページを御覧ください。

「マルガレーテ・シュタイフ・テディベアを作った人」のように、児童が登場人物の生き方に深く共感し、誇りある生き方や夢や希望のある生き方を考えることができる教材が取り上げられております。

さらに、発達段階に合わせ、各学年、各教材

の文章量が適切になるように配慮されており、必要な箇所に必要な挿絵が掲載されています。

次に、光文書院です。

6年生の教科書21ページを御覧ください。

「自由な公園」という教材ですが、光文書院の特徴として、終末では「まとめよう」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」を確認し、学習内容をまとめる活動を通し、学んだ道徳的価値を自分との関わりの中で捉え、発展させることができるよう配慮されています。

また、6年生の教科書18ページを御覧ください。

冒頭の「導入」では、子供の経験を想起させたり、主題に関わる問題意識を持たせたりすることで、教材の内容に興味・関心を抱かせることによって、学習意欲を高め、目的意識をより明確にした上で、学習に取り組めるよう取り扱われています。

そして、いじめの防止や安全の確保といった課題については、児童にとって喫緊の問題であると捉え、各内容項目の教材において、直接的・間接的にいじめについて、子供自身の問題として捉えられるような教材が選定されています。

さらに、6年生の教科書の目次を御覧ください。

全学年に重点主題として設置し、「いじめを生まない心」を主眼に、児童自らがいじめの防止等に主体的に関わる態度を育めるように配慮されています。

最後に、学研です。

学研は、道徳科の目標を達成するために、多様な教材を掲載しています。教材を通して、児童の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができるように工夫されています。

4年生の教科書22ページを御覧ください。

フォントは、大きく、見やすい書体、ユニバーサルフォントが使用されています。見出しや本文は、児童の立場に立って、平易で理解しやすく記述されています。

また、レイアウトの工夫により、学習展開を考慮

して、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっており、見やすく、分かりやすくなっています。さらに、QRコードの横に言葉があり、子供たちは「見てみたいな」と興味・関心を持ちやすいものになっています。

そして、いじめを生まない心について、多面的・多角的な視点から、自分との関わりで考えを深めるために、様々な内容項目の教材が用意されています。

4年生の教科書目次を御覧ください。

「深めよう」「心のパスポート」など、多面的・多角的に学んで道徳的価値を追求する問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習に合った教材を、随所に取り入れられています。

さらに、4年生の教科書30ページを御覧ください。

「名人をこす藤井聡太」のように、教材には、様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材等、児童が興味・関心を持って学べるように、心を引き込む教材が多数掲載されているところも特徴の一つです。

最後になりますが、各学年巻頭に「繋がる私 広がる私」、巻末には「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自身の成長を振り返り、課題や目標を見つけることができるように工夫されています。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

御意見、御質問ありましたらお願いいたします。

○谷池雅子委員

いじめってというのは恐らく大きなキーワードと思うのですが、いじめや生命の大切さなどに、どの教科書ももちろん取り組んでいるのですが、例えば目次にいじめとか書いてある教科書もあれば、あからさまに書いてない、よく分からない教

科書もあって、その辺はどうなのでしょう。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

おっしゃられるように、各発行者ともに重点内容項目として、いじめについて力を入れて取り扱っております。

東京書籍、教育出版、光村図書出版は、全学年でいじめを重点テーマとして、ユニット構成してあります。

日本文教出版は、「いじめ防止ユニット」、「人との関わり」が年間3回設けられております。

また、6年生の教科書、148ページ、よろしければ見てください。6年の教科書148ページです。

「心のベンチ」というもので、全学年いじめ防止のコラムが掲載されております。6年生の148ページでございました。

光文書院は、いじめ、いのち、学年独自の主題を重点主題に置きまして、各学年の発達段階に応じたいじめを生まないところの系統性を意識してつくられております。

分かりにくいとおっしゃられたものは、学研かと思いますが、学研は最重点テーマ、命の教育を土台にして、ユニット構成のように一時的ではなくて、年間を通してバランスよくいじめ防止に関連する教材を配置しております。

4年生の教科書、目次を御覧ください。

8つの教材の下に、握手マークがあると思います。その握手マークがいじめ防止マークでございます。様々な内容項目の教材から、生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れながら他者とともによりよく生きることを考えていくようにはなっております。

以上でございます。

○安達友基子教育長職務代理者

世界人権宣言ですとか、子どもの権利条約について取り上げているような発行者はありましたか。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

世界人権宣言につきましては、6年生の教科

書、教育出版で95ページに取り上げられております。

また、172ページを見ていただきますと、95ページのコラムで取り上げられているだけではなく、全文が掲載されております。

光村図書出版では、6年生の教科書81ページに、世界人権宣言から学ぼうで、教材として取り上げられております。

日本文教出版では、6年生の教科書、176ページ、6年生の教科書176ページで、心のベンチで取り上げられております。

文教出版は、176ページ、心のベンチで取り上げられております。

学研では、6年生の教科書、学研の6年生の164ページ、心のパスポートで、子どもの権利条約について取り上げられております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

他に、質問、御意見ありましたらお願いします。

無いようですので、各委員の皆様それぞれ意見表明をしていただきたいと思っております。

○福田知弘委員

私は、学研がいいと思えました。

1つ、課題をどこまで具体的に書き表すかというところで、私はむしろ、あまりあらかじめ植えつけないほうがテキストとしてはいいのではないかと考えております。2つめに、読む量と書く量と話し合う量、これらをうまくバランスよく授業の中で取れるほうがいいのではないかと考えております。これら2点のことから、文章量をごく少なめに取られている学研を選ばせていただきました。

以上です。

○谷池雅子委員

私は、光村を推薦いたします。

なぜかといいますと、まず1年生の導入部の文字数が、学研多いからです。道徳は、みんな嫌がることの多い授業なので、なるべく文字数が少なくして簡単なのがいいのかなと思っております。また、いじ

めについて、完全にユニット化して明文化していることに着目しました。先ほど、握手マークがはじめを取り扱っているという意味であるとおっしゃっていただいていたので分かったのですが、目が悪いのかどれが握手マークなのかも分からないような状況でして、多面的にはじめについて扱っているというのは本当なのか疑問に感じます

更に、何よりも人権について、着目しました。世界人権宣言について、ページを割いているというのはとても評価できると感じました。

道徳は、他者いろいろで多様な意見があると思いますが、個人的に、私はこのように考えました。

○安達友基子教育長職務代理者

私も光村がいいと思っています。

理由としては、谷池委員とほぼ同じなのですが、いじめというのを明確にユニットとして打ち出してほしいなと思ったからです。学研さんのように、常に随所で取り上げているスタイルというのも分からなくはなく、テーマを明示しないことのよさがあるということも確かに理解はするのですが、そういう構成であったときに、その先生の力量によって、そのことが子供たちにきちんと伝わるのかどうか、大きく左右されそうな気がしています。

うまく伝わらないままだと、そこが置きざりになるのではないかという懸念もあるので、そこは明示していただいて、重点ユニットとして取り扱っているほうがいいと考えております。また、世界人権宣言のことも同じで、そこもコラムのようにして書くのではなく、教材として正面から取り扱っているというのは、とてもいいことだと感じました。

○飴野仁子委員

私は、光村を推薦します。

理由は、1年生、2年生、3年生、4年生、5年生、6年生と、通して読んでみたときに、この科目の性質上、やはり、物事ごとの課題テーマや、課題の立て方、深堀の仕方等において、深く考えていけるよう配慮されている。そして、人権感覚について

も豊かだなということを感じました。

一方で、現在、学研を使用されているようで連続性をと重視することについてもかなり考えたのですが、学研の教科書ではQRコードが入っているのですが、その情報へ飛んだときに、え、これが中身ですかという部分もありました。それだったら、この科目上、じっくり内容とそれを読み込んで一緒に考えていくことのスタイルをとる方が科目の性質にもよく合っているのではないかと考えて、この光村を推薦いたします。

○和田光代委員

私は、学研がいいと感じました。

理由としては、福田委員と同じなのですが、やはり文章量も少なめで、その問いに対して、考える時間を多く設けられる作りになっています。自由な発想の下、話し合い、そして多様な感じ方、考え方の出会いや交流の時間をできるだけ割いてほしいなという思いもあり、学研図書がいいと感じました。

○西川俊孝教育長

学研2名、光村3名ということで、3対2ということになりますので、多数決で光村に決まりました。

したがって、議案第55号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 特別の教科 道徳の採択について」につきましては、光村を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

それでは日程第56、議案第56号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 外国語（英語）の採択について」審議及び採択を行います。

それでは、事務局の説明を求めます。

○吉川優莉教育センター主幹・指導主事

それでは、「別表1-13、令和6年度使用教科用図書小学校用 外国語（英語）」の選定具申の発行者順に御説明いたします。

外国語では、5年生から教科用図書を使用し

ております。

初めに、東京書籍につきまして、御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。

40ページ、41ページを御覧ください。

2次元コードを読み取ると、冒頭にアニメーション映像があり、そのストーリーの中で、間違いやすい片仮名英語などが扱われ、自然に児童の興味・関心を持てるよう工夫されております。

別冊の絵辞書 My Picture Dictionary の34ページを御覧ください。

空欄のカードに、児童の言いたい単語を増やして、デジタル教科書と併用してオリジナルの絵辞書を作れることが特徴の1つです。

続きまして、開隆堂出版について、御説明申し上げます。

5年生の教科書、64ページ、65ページを御覧ください。

学習活動を通して、英語を聞いたり、話したりする活動が豊富です。64ページ下部にある Let's Try という活動では、単元のゴールに向かって、ペアやグループで伝え合います。

また、「よい聞き手になる」ということも意識して、相手の話を聞いているときの表現例が、右側65ページ、Let's say it. というコーナーで紹介されています。

次に、32ページ、33ページには、日本の地域の紹介、84ページ、85ページには、世界の国々の標識など、児童の発達段階に即して、興味・関心を持って学習を進められるよう工夫されていることも特徴です。

続きまして、三省堂について、御説明申し上げます。

6年生の教科書を御用意ください。

59ページを御覧ください。

Let's Play の活動では、ここにあるようなゲームのほか、クイズ、ページ探し、プログラミングなどがあり、楽しみながら英語に親しむことができるよう工夫されていることが特徴です。

5年生の教科書、79ページを御覧ください。

「金の斧」の他にも、「北風と太陽」や「ガリバ

ー旅行記」など、児童のよく知っている物語が取り扱われているのも特徴の1つで、興味・関心を持てるようになっていきます。

別冊 My Dictionary という絵辞典では、2次元コードを読み取ると、単語の音声や Word Chant というリズムに合わせた英語の音声だけではなく、自分のペースで単語を学習できる「単語ゲーム」という機能などが備えられています。

続きまして、教育出版について、御説明申し上げます。

6年生の教科書を御用意ください。

30ページを御覧ください。

ここでは、「鬼滅の刃」が登場します。このほか、「すみっこぐらし」というキャラクターや、吹田くわいなど、児童にとって身近なものが取り扱われており、興味・関心を持てる工夫がされております。

6年生では、世界のマップがあり、眺めるだけでワクワクできるような工夫がされています。また、レストランで注文や道案内のやり取りなど、実際に起こり得る場面設定で英語を使って体験的にコミュニケーション活動ができます。

全体的に、紙面に記載されている内容が簡潔で、英語に苦手意識を感じる児童にも取りかかりやすくなっています。活動例を示した動画には、実在の人物がペアで活動している場面が使用されており、表情を確認することもでき、児童がまねをして取り組みやすくなっていることも特徴の1つです。

続きまして、光村図書出版について、御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。

10ページ、11ページを御覧ください。

「いつも『たいせつ』」というコーナーに、これから学習を進めるに当たって、児童がコミュニケーションの中でいつも気をつけることが、英語とともに扱われています。全体を通して、誰に何のために伝えるのかという視点を大切に、相手を意識したコミュニケーション活動となるよう工夫されていることが特徴の1つです。

70ページ、71ページを御覧ください。

チャンツや歌など、5、6年生の2年間を通して、

リズムに合わせて英語に親しむことのできる活動が豊富です。また、自分の部屋について考えるなど、児童にとって身近な場面や状況が取り扱われており、興味・関心を持てる工夫がされています。

最後に、啓林館について、御説明申し上げます。

5年生の教科書を御用意ください。

34ページ、35ページを御覧ください。

ジングルやチャンツでリズムに合わせて英語に親しむことができるよう工夫されているのが特徴です。

6年生の教科書を御用意ください。

58ページを御覧ください。

Did you know?の活動では、それぞれの単元に関連した世界の国々の文化が扱われており、児童の興味・関心を刺激する工夫がされています。

各学年の教科書冒頭に、コミュニケーションに大切なこと、また巻末には会話を楽しむフレーズ集があり、児童自身が考えてコミュニケーション活動に取り組めるようになっています。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、御質問、御意見ありましたらお願いします。

○和田光代委員

コミュニケーション活動について、特徴なものを教えてください。

○吉川優莉教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、英語によるコミュニケーションにおいては、主体的、対話的で、深い学びが実現するよう工夫されています。

開隆堂では、5年生の教科書、64ページ、65ページを御覧ください。

Let's Try という活動では、単元のゴールに向かって、互いの考えや気持ちをペアやグループで伝えます。「よい聞き手になる」ことも意識

をして、相手の話を聞いて、褒める、質問する、励ますができるよう、表現例を紹介する Let's say it.というコーナーが設定されています。

教育出版は、6年生の教科書、61ページを御覧ください。

話し手としてだけでなく、聞き手としての気持ちのこもったリアクションができるよう意識した言語活動が取り扱われています。

また、5年生の教科書、59ページを御覧ください。

単元の最後に、ワークシートを使って児童一人一人のワークシートを作品として、クラス全体で共有できるように、「できることの木」を作成する活動など、クラス全体で協働して取り組み、コミュニケーションを深める工夫がされていることも、特徴の一つです。

他にも、6年生の教科書、66ページを御覧ください。

「お手がみ」という国語教科書にある教材の英語版を使って、登場人物の気持ちを考えながら演じるという活動があり、他教科とも関連づけながらコミュニケーション活動に取り組むことができます。

光村図書出版は、5年生教科書冒頭、10ページ、11ページで先ほど御説明させていただきましたとおり、「いつも『たいせつ』」というページに、コミュニケーションで気をつけることが取り扱われております。

誰に何のために伝えるのかという視点を大切にして、自分の考えや気持ちを表現するとともに、相手を意識したコミュニケーション活動となるよう工夫されています。

単元のゴールの活動には、これまで実践してきた活動を中心に設定されており、児童にとって安心して取り組むことができます。

以上でございます。

○福田知弘委員

読むことや、書くことの言語活動で、特徴的な教科書はありますか。

○吉川優莉教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、音声で十分に語句や表現に慣れ親しんだ後に、読むこと、書くことの言語活動にスムーズに学習ができるよう工夫されております。

教育出版、6年生の教科書、93ページを御覧ください。

Final Activityで、発表や発展的なやり取りとともに、読むこと、書くことの活動が取り入れられていることで、無理なく児童の意欲を高める構成になっているのが特徴的です。

表現意欲を高めるような、ワークシートを使って、自分の思いを形にしたり、友達と読み合ったりすることもでき、読んだり書いたりする活動を通して、自尊感情や他者理解の気持ちを育てることもできます。

また光村図書出版は、6年生の教科書、100ページを御覧ください。

ファンイズ アルファベットという、単語や文の読み方を推測する力を伸ばす活動があり、59ページ、学年末には、読む力がついてきていることを実感できるよう、SDGsに関する英語の物語教材があるのが特徴です。

また、単語や文の基本的な書き方を身につけられるよう、記入欄にポイントが書かれているなどの工夫があります。

以上でございます。

○谷池雅子委員

デジタル教科書で活用できるというのは、今は紙媒体の教科書だが、デジタル教科書が入る前提という意味なのですか。

○吉川優莉教育センター主幹・指導主事

デジタル教科書を使用して、子供たち一人一人が自分のペースで学習することができます。

○谷池雅子委員

要するに、この紙媒体の教科書と同時に、デジタルの形で教科書が入るのですか。

○吉川優莉教育センター主幹・指導主事

そのとおりでございます。

○谷池雅子委員

どの教科書を選ぶにしても、要するに、どれだけ子供たちに会話させて、どれだけ英語を聞かせるのかという点においては、結局ファシリテーターとしての先生のスキルが大きいと思うのですが、先生用の指導の教科書のサポート面は各教科書いかがでしょうか。

○吉川優莉教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、英語が苦手な先生でも、英語が得意な先生でも、児童の主体的な学びを支援できるように工夫されております。

例えば、開隆堂出版では、5年生の64ページ、65ページを御覧ください。

見開き1ページの中に、英語を聞いてやり取りを通して使うという活動が豊富で、児童の主体的な学びを支えられるような支援があります。

また、デジタル教科書では、各時間の流れを確認することもでき、児童が学習の見通しを持てる工夫がされております。

三省堂は、全体的にイラストや字のバランスがよく、見開き1ページ1時間で構成されており、苦手意識を感じる児童にも、取りかかりやすくなっております。

教科書の冒頭には、学年ごとの目標や、できるようになることが書かれていることに加えまして、各単元では、HOP、STEP、JUMP という流れで学習の見通しを児童も持てるようになっております。

教育出版は、全体的に問題数や紙面に記載されている内容が簡潔で、情報量も少なく、苦手意識を感じる児童にも取りかかりやすくなっています。

活動時に使う動画には、実在の人物がペアで活動している場面が使用されており、児童がまねをしやすくなっております。

教科書の冒頭には、学びの見通しが立てやすいロードマップ、各単元の冒頭に単元目標、単元

末には振り返りがあり、学習のポイントが児童もイメージしやすくなっております。

最後に光村図書出版は、全体的にイラストや字のバランスがよく、見開き1ページ1時間で構成されておりまして、児童にとっても使いやすい紙面となっております。

5年生の41ページを御覧ください。

絵や写真が多く使われておりまして、カードを置くことで英文をつくることができ、苦手意識のある児童も、自分の力で取り組みやすい工夫がされております。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

それでは、意見、御質問ないようですので、それぞれの委員さんから表明をしていただきたいと思っております。

○谷池雅子委員

私は、デジタル教科書をまずサーチしていた経験から、教育出版を推薦いたします。

レストランでのオーダーのセッティング等、実際に使えるような英会話を搭載しているのも、日本の教科書としていいのではないかなと思っておりました。

以上です。

○福田知弘委員

私も教育出版がいいと思っておりました。

各単元が分かりやすいということ、それから動画でも見られるということも大切なことだと思います。他教科とのつながりがあり、身近により感じられるかというところ、名所とか名物マップがあり、社会とか家庭科なのですけども、名所や名物の選び方も適切であると感じました。

○安達友基子教育長職務代理者

私も教育出版がいいと思っております。

教科書もコンパクトにまとまっていますし、書かれている文字の量が多過ぎないので、活動のほうに重点を置いて、英語を使っていくということが

メインで学習できるのではないかなと思っておりました。

○和田光代委員

私も教育出版がいいと思っておりました。

1年間、この学びを見通すことができるロードマップが巻頭にあり、シンプルで分かりやすい紙面であり、苦手意識を感じる児童の取組も工夫をされていますし、自分の発音を確認できる機能も備えられ、確認しながら自分のペースで学習できるのもよいと思っておりました。

○飴野仁子委員

どの教科書も非常に工夫されていて、私自身が今、小学校に通えていたらなあと、非常に残念に思っています。

その上での意見ですが、中学校へ進学するときに、なるべく子供たちに苦手意識を持ってほしくないという観点から、光村図書のQRのコンテンツで、一例ですが、5年生の中の80ページの中で、メニューを注文することなど、日常生活のやり取りが出てきているところがありました。そこで、文章等は教科書にはないのですけれど、どんどん耳で、自学で学びたい子は進められるようなところが良いように思っておりました。

読み書きは非常に大事なことなのですが、その前段という小学生のところ、実践的な英会話に馴染みやすいつくりをされている光村図書を推薦します。

○西川俊孝教育長

それでは、意見を頂いたのは、1人は光村図書、そして教育出版が4名ということで、教育出版ということになります。

よって、議案第56号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用 外国語（英語）の採択について」につきましては、教育出版を採択することといたします。

○西川俊孝教育長

では、日程第19、議案第57号「吹田市令和6

年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○西慎一郎学校教育室参事

日程第19、議案第57号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

選定委員会からの本議案に係る答申についてでございますが、別表2にもありますように、吹田市におきましては、従来から、障害のある児童生徒の社会参加や、自立を実現させる観点に立ち、可能な限りすべての児童生徒が、共に学び、共に育つよう配慮しており、支援学級に在籍する児童生徒も、通常学級の児童生徒と同じ教科用図書を採択し、学校教育法附則第9条に規定される教科用図書については、別途採択をしておりません。

しかしながら、小・中学校に在籍する児童生徒のうち、弱視児童生徒につきましては、学校教育法附則第9条に基づき、令和6年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することが望ましいため、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

説明が終わりました。この件について、何か御質問があるでしょうか。

それでは、この件について承認することに異議ないでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第57号「吹田市令和6年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択につい

て」を承認いたします。

○西川俊孝教育長

次です。日程第20、議案第58号「吹田市令和6年度使用教科用図書中学校用の採択について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○西慎一郎学校教育室参事

日程第20、議案第58号「吹田市令和6年度使用教科用図書中学校用の採択について」の御説明をさせていただきます。

本件は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条の規定に基づき、別表のとおり、令和5年度と同一の教科用図書を採択するものです。

教科用図書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条により、政令で定める期間は、同一の教科用図書を採択することとなっており、中学校の教科用図書は、本年度採択替えの年に当たらないことから、令和6年度は令和5年度と同一の教科用図書を採択するものでございます。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

この件について、何か御質問、御意見ありましたらお願いします。よろしいですか。

それでは、この件について承認することに異議ないでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第58号「吹田市令和6年度使用教科用図書中学校用の採択について」を承認いたします。

○西川俊孝教育長

次です。日程第21、議案第59号「吹田市令和6年度使用教科用図書中学校用の学校教育

法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○西慎一郎学校教育室参事

日程第21、議案第59号「吹田市令和6年度使用教科用図書中学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

本議案につきましては、先程、日程第19、議案第57号で御説明いたしました小学校用と同内容の趣旨でございます。

したがって、学校教育法附則第9条に基づき、令和5年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採用することが望ましいと考えますので、御承認いただきますようよろしく申し上げます。

以上でございます。

○西川俊孝教育長

この件については、何か御質問、御意見ありますか。よろしいですか。

では、この件について承認することに異議ないでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○西川俊孝教育長

異議なしと認め、議案第59号「吹田市令和6年度使用教科用図書中学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認します。

定例教育委員会会議、全ての議案が終了をいたしました。

これにて7月定例教育委員会会議を閉会いたします。ありがとうございました。